京城日報

二十日夕刊

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○我砲艦地中海に現る

在テロニカ路透通信員發電に曰く日本砲艦數隻は地中海に到著せり（倫敦電報）

○貴州軍遂に敗る

四川省成都に於ける四川軍と貴州軍との衝突戰は遂に貴州軍の敗に歸せり（上海電報）

○一部營業税の免除

十八日大總統命令を以て市街戰の結果商業停滯し下級民は窮乏せるより家賃、車馬税、劇場、遊廓等の營業税を七月一日より二箇月間免除する旨公布せり（北京特電）

○參戰問題進捗聲明

外交總長汪大燮氏は支那參戰問題の益々進捗しつゝある事を聲明せり（北京電報）

○鹽税剩餘金引渡

四國銀行團は鹽税剩餘金四百萬元を新内閣に引渡せり（上海電報）

○黎氏の渡日を抑止す

黎元洪氏は日本に赴きて靜養の意あるも段總理は之を抑止しつゝあり（北京特電）

○馮氏の上京と段氏

馮國璋氏は近かく二箇師團の兵と共に上京せんとし段總理は之を喜ばざるの風あり（北京電報）

○薩氏就任を肯ぜず

薩鎭冰氏は海疆巡閲使に就任するを肯諾せず（北京電報）

○黎氏夫人の天津行

黎氏夫人は十八日天津に赴けり（北京特電）

○英驅逐艦獨船拿捕

英國驅逐艦數隻は北海にて獨逸汽船四隻を拿捕せり他の獨船二隻は損害を被りたるも和蘭海岸に遁走せり（倫敦電報）

○露國三大臣辭職説

三大臣聯袂辭職

露都來電＝大藏大臣シンガレフ文部大臣マノウヱロフ司法大臣シヤコフスコイの三氏は聯袂辭職せり（紐育電報）

○獨新宰相戰意鞏し

獨逸新宰相ミハエリス博士は敵國に對し飽迄戰闘を繼續すべく決心強硬なりと（桑港電報）

▲獨逸新宰相ミハエリス博士の根本的施政方針は鞏固なる外交方針を確立し以て國民の協同一致を圖るに在りと（透路電報）

○米船建造契約數

米國造船計畫を擔任せるゴツサルス氏の發表によれば目下建造契約濟みのもの木造船二百四十八隻百二十二萬噸鋼鐵船七十七隻六十四萬三千四百噸あり之を建造する爲め七月十六日造船所二箇所を建設の豫定なり（紐育電報）

○正貨五億超過

日本銀行に於ける正貨五億圓を超過せり（東京電報）

○大分市長當選

大分市々會議長三浦數平氏は大分市長に當選せり（大阪特電）

○東拓總裁理事歸鮮

東拓總裁石塚英藏氏は理事松平直平氏と共に二十日朝入港の新羅丸にて釜山着同十時三十分發列車にて京城に向ふ（釜山特電）

○村瀨鐵道院囑託

鐵道院囑託村瀨鎌次郎氏（元鐵道局副參事）は二十日朝内地より釜山着同十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

○飾多商會主來鮮

神戸飾多商會主飾多範三郎氏は同商會顧問森作太郎氏と共に同商會の經營せる金鑛視察の爲め十九日午後九時十分入港關釜連絡船壹岐丸にて來釜同十一時發列車にて京城に向へり（釜山特電）

○大邱水道給水

大邱水道工事は半以上鐵管の埋設を了したるを以て二十日より一部の給水を爲せり（大邱特電）

●第一部長會同

（第三日）

第一部長會同第三日は二十日午前八時より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く宇佐美内務部長官統裁の下に直に日程に入り諮問事項の答申並に事務の打合せありて正午散會したり

●鮮鐵引繼

國澤副總裁來らん

鮮滿兩鐵道の併合統一は鮮鐵の經營を滿鐵に委託する形式を以て愈々八月一日より其の實施を見る事に確定したる模様なるが曩に來京して併合ー大體の打合せを了し歸連したる國澤滿鐵副總裁は一兩日中に再び大連出發鮮鐵當局より鐵の引渡しを受くる爲め社員多數と共に來京すべしと

●朝鮮貿易

六月上半

▲出入の状況　六月上半の朝鮮貿易は輸移出品價三百四十八萬八千五百七十七圓、輸移入品價三百九萬千五百二十八圓、合計六百五十八萬百五圓にして出入の權衡は入超の趨勢を一變して卅九萬七千四十八圓の出超を示すに至れり而して之を前年同期に比すれば輸移出に於て百七十三萬五千二百餘圓輸移入に於て百三萬八千八百餘圓の共に增進を告げ總計に於て實に二百七十七萬四千餘圓を激增したり

▲累計貿易額　次に本年一月以降の貿易額を見るに輸移出三千九百二十八萬六千二百餘圓、輸移入四千七百九十三萬八千六百餘圓、合計八千七百二十二萬四千九百餘圓にして前年同期に比し輸移出に於て千三百八十一萬三千餘圓、輸移入に於て千四百十九萬四千餘圓の何れも增加を示し合計二千八百萬七千餘圓を增進せり

▲出入金銀高　尚ほ六月上半の出入金銀高は出高金銀貨及び金銀地金を合し二十二萬七千六百十四圓、入高銀貨及び銀地金二十六圓にして前年同期に比し出高に於いて百七十三萬三千餘圓、入高に於いて五萬二百餘圓の共に激減を來し、又た一月以降の累計額は出高、金銀貨及び金銀地金四百九十九萬九千七百餘圓、入高金銀貨及び金銀地金二十六萬八百餘圓にして前年同期に比し出高に於て三百四十七萬千八百餘圓を減じ入高に於て一萬八千三百餘圓を增せり

●朝鮮大阪貿易

七月上旬に於ける朝鮮大阪貿易は輸移出七十五萬六千圓移入百六十二萬圓にして結局八十六萬四千圓の入超を示したり

●佐連線の修理

內鮮間電信遲延

大連佐世保間海底電信線不通のため朝鮮經由の電報非常に增加し內地朝鮮及び滿洲間の電報著しく遲延しつゝあるが右佐連線は重要海底線なるため遞信省にても其の復舊を急ぐ必要あり二十一日作業船沖繩丸を大連に廻航せしめ直ちに其の修理をなさしむべし而して故障個所は大連より約五十海里なりとの事に付多分月末迄には開通の運びに至るべきかと矢野通信課長は語れり

●近野工兵監入京

近野工兵監は二十日午後五時十分南大門驛著入京の旨其の筋に電報あり氏は二十一日昌德、景福兩宮其の他京城市中を見物す可しと

●總裁理事歸京

東上中なりし東拓總裁石塚英藏理事子爵松平直平の兩氏は吉田參事同行二十日午後九時南大門驛著列車にて歸京すべし

●鮮銀總裁當分滯京

美濃部鮮銀總裁は木村理事の健康未だ復舊せざるに付愈々其の歸任を株主總會後とすべく當分滯京の旨某所に通知あり

●桑苗生産增加

近く需給均衡せん

▲桑苗の生産　桑苗生産事業は近時著しく發達し大正五年には其生産者數一千二十八人を算し前年に比すれば十二割五分を增加せり、而して其の生産成苗數は實生苗約二千七百四十七萬本、接木苗約一千三百六十九萬本合計四千十六萬本にして前年に比し實生苗に於て五割九分、接木苗に於て四分、總生産數に於て三割五分の增加を示せり

▲實生苗　實生苗は忠清北道を除く各道に生産せられ其の主産地を平北、京畿の二道とす、前者は約五百七十五萬本、後者は約四百六十萬本を生産し、其の合計數は總生産數の三割八分を占む、之に次ぎて多きは忠南、平南、江原等にして何れも三百萬本以上を生産せり、本苗は從來速成桑園用として生産せらるゝもの多かりしも近時蠶業の發達に伴ひ實生苗の儘栽植するもの漸次減少し永久的桑園として需要の激增せる接木苗の砧木として多數使用せらるゝに至れり

▲接木苗　は咸北を除く各道に生産せらるゝも京畿及び慶南の二道を主産地とす、前者は約五百萬本、後者は約二百五十萬本を生産して其の合計數總生産額の五割四分を占む之に次ぎて多きは全南の約二百萬本にして慶北の約百八十萬本、忠南の約百五十萬本、全北の約四十六萬本之れに順次し其の最も少きは黄海の約二萬本とす本苗は育成上特殊の技術を要するを以て道は各地に傳習會を開催し當業者に接木並に育苗の方法を實地に授け其の生産を奬勵したる結果近時著しき發達を爲せりと雖も本年は六七月に亙り各地に洪水あり地方に依ては著しく其の發育を害せられたるを以て其生産數は叙上の如く大なる增加を見るに至らざりき

▲生産の目的　次に之等の桑苗を生産の目的に依り區別し其の産出の状況を見るに農蠶業奬勵機關の生産數は實生苗約一千四百六萬本接木苗約百六十七萬本合計約一千六百二十三萬本にして總生産額の三割九分を占め平北、平南、慶南及び全南等に多く生産業者の生産數は實生苗約一千二百九十萬本、接木苗約一千二百萬本合計約二千四百九十萬本にして總生産數の六割一分を占め京畿、忠南、江原、慶南全南及慶北等に多し

▲需給の均衡　從來朝鮮に於ける桑苗は種苗場蠶業講習所又は傳習所等の農蠶業奬勵機關若は永登浦、浮里島、大田、禮里、金泉、三浪津等に於ける少數の内地人に依りて生産せられたりしに近時各地に桑苗生産事業勃興し朝鮮に於ける桑苗の需給關係は漸次好調に向ひつゝあり今後之が生産に一段の努力を加へなば近く需給の均衡を保つに至る可し

●學校組合會議

既報の通り京城學校組合會議は本日午後三時より組合議場に於て開催、組合費減免に關する件六年度豫算更正の件及び前會議に於て懸案となりし教員服制問題、中學校增設問題等を附議したり

●鮮銀の部長招待

朝鮮銀行にては二十日午後七時より會議のため入京中の各道第一部長を主賓として花月に招待盛宴を張る由なるが總督府より宇佐美内務部長官大塚、澤田兩課長等列席し銀行より大田理事中村、井内、阿部三局長、飯泉秘書役等列座すべし

●朝郵平安丸引渡

神戸川崎造船所にて新造せし朝鮮汽船平安丸（一千五百七十噸）は進水後の艤裝全く成りしを以て二十日造船所と朝郵代表者永井船舶課長との間に受授を了したるが廿日若くは二十一日神戸出帆二十二三日中に釜山入港釜山より浦鹽に直航すべしと

●露國の外國爲替禁止斷行

鮮銀の善後策講究

露國臨時政府にては既報の如く六月三十日附露貨暴落防止策として外國爲替禁止令を發布即日施行特に大藏大臣の指定せる銀行を經由するか若くは大藏省の外國爲替決濟課を經るにあらざれば絶對に

▲外國爲替の取組を禁止する事となり浦鹽にては去る十七日該命令發戢の官報到達の日より其の實施を行なひたるため朝鮮銀行系統の松田銀行部は殆んど日露爲替の取組みをなし得ざる事となれり唯在浦鹽の外國爲替取扱指定銀行若くば外國爲替決濟課を經れば其の取組み可能なれどもさすれば相當の時日を要するのみならず露貨の根本は大藏省にて公定せる百圓對百七十三留の建値に往せらるゝため四十留内外の損失を來し到底取組み可能ならず旁々

松田銀行部は全く爲替業務を停止し居れり

露國にては

▲哈爾賓は租借地なるため外國と認め外國爲替の禁止令施行は行はざるもの、如きも從つて浦鹽哈爾賓間に於ける鮮銀相互間の爲替も自由には取組めざる事となれり之れ實に折角發展せる日露貿易上の大障得と云ふべく既に大阪神戸の商業會議所は右解禁に關する交涉請願を大藏省に開始せりと

▲松田部長上京　浦鹽鮮銀の松田銀行部々長木原小平氏は露國の外國爲替禁止實行に對する説明並に善後策講究のため本店の召電に接し十九日浦鹽出帆の便船にて京城に向ひたるが二十一日入京すべし

▲英米市場影響　朝鮮銀行にては露國の外國爲替禁止實行に對する英米各地市場の影響如何に付急電にて調査しつゝあるが英國倫敦にては露國の戰況有利等のため露貨一時金百圓對二百五留に騰りしたりしも其後又下落して二百十五留を報じ外國爲替の禁止による調節上の好影響は未だ認め難きものゝ如しと

●四鄭線工事

近況

四鄭鐵路局長の語る處に據れば該鐵道工程は頗る進捗して目下既に八面城迄土工事を通轉し居り來る十二月迄には全線の開通を見る可し猶鐵價騰貴及び東清線輸送難に因る木材枕木其他歐戰の影響なる諸般材料騰貴の爲め工費に於て百二十萬元の不足を告ぐるに至れるも此れは訂約により正金銀行より借入るゝ豫定なりと（奉天）

●安東貯金總會

安東貯金銀行第十三期定時株主總會は十八日午後七時より安東公會堂に於て開催出席者本人三十八人此株數一千〇十六株委任狀五名此株數五百六十九株計三十五名一千五百八十五株にて藤平專務取締役の本期營業其他諸般の報告並に平尾監査役の監査報告ありて滿場一致之を承認し終つて臨時總會に移り監査役任期滿了に付改選の結果平尾爲彥、石崎久三郎兩氏再選重任に決し尚前重役枡淵孫藏氏に對する慰勞金贈呈の件は役員に一任する事に決し同七時四十分閉會せり當期利益金處分案左の如し

▲前期繰越金一萬八千七百七十四圓四十六錢▲法定準備金一千圓▲別段積立金一萬三千圓▲營業用土地建物▲什器償却金三百圓▲役員賞金一千五百圓▲株主配當金一千五百圓（年一割二分の割）▲後期繰越金一千四百七十四圓四十六錢

●安東縣愈防穀

安東縣管内は商埠地を除き愈々來る七月二十三日より本年の收穫期に至るまで大小麥麵粉高粱包米小米黃米等の輸出を禁止し管内住民の食料缺乏を豫防すべしと（安東）

●上海染織布衰退

上海支那人の染織布業は歐戰開始以來漸次衰運に向ひつゝありしが去年夏秋の交には尚五十戸ばかり殘存せしも本年に入りてより陸續閉店し目下全上海を通じて十戸に滿たず失敗の原因は當業者が目前の小利を追ふて遠圖を爲さざるのみならず同業者間の競爭烈しき爲め價格も品質も共に低下し社會の信用を失墜したる上時局の影響を受けて販路停滯し遂に營業を持續し能はざるに至りし結果なりと（上海）

■仁川

▲下水溝改修工事　仁川府にては第一回下水溝改修工事として山根町官舍前より女學校前に至る百十間及び紐峴道路百十間の開渠式下水溝の工事に着手しつゝ有るが既に工程進み契約期間たる八月末日迄には竣功すべしと尚第二回工事としては濱町支那町栗木里等の下水溝は近日中に入札をなし直ちに起工する筈なりと▲海水浴場設備協議　仁川有志は二十日午後三時より商業會議所樓上に參集月尾島海水浴場設備に關する協議會を開く

■大邱

▲大邱公友會例會　大邱公友會は既報の如く十八日午後七時より刀水園內詠歸亭に於て例會を催したるが出席者十八名に達したり▲大邱生果出廻況　大邱名物たる桃苹果等は去月末頃より出始め毎日約三噸宛の出荷を見ると共に市場を賑しめ居たるが十八日の如き大邱驛貨物取扱所を經由して出荷したる數量は釜山桃十六個苹果二十個京城桃卅五個苹果四十五個元山苹果十個桃十個安東縣桃七十二個總計二百三個に達し居り▲慶北肺デストマ　慶北警務部に於て行はれたる慶北肺デストマ調査の結果を聞に同管内に在る内鮮人九十六萬二百八十名の中肺デストマに罹り居れるもの七千六百七十人を發見したるが其の多くは朝鮮人なりしと▲青年通俗講演會　大邱東城町二丁目日本基督教會堂に於ては二十一日午後八時より青年會第七回通俗講演會を催せり

■全州

▲南部物産品評會　道南に當る南原、淳昌、任實、長水の四郡聯合の上來る十一月十七日より二十一日まで聯合物産品評會開催の筈にて會長たる南原郡守は目下開催準備中なり▲停車場通改修　數年來の懸案に係る全州市内銀杏木通りの市區改正は先般來改修に著手し既に道路敷に要する家屋の取除を了し目下工夫を督し急施中なるが全く完成を告ぐるは來る八月末ならんと▲廳務主任會議　全北道にては管内各府郡廳務主任を招致し來る二十六日より三日間道會議室に於て面政實施に關する準備其他地方行政に關する諸般の協議を行ふべしと▲全慶重役會議　全州農工銀行にては去る十日重役會議を開き株主總會に提出すべき營業報告並利益配當案法に就き協議せり因に株主總會は來る二十一日なり▲德津私設公園　豫て公共事業に熱心なる私財を投じ來り特志の聞え高き在全州朴基順氏は去歳來私設公園設置の目的を以て遊園地なる德津池畔の國有林貸下出願中の處此程許可の指令に接したるより遠からず之れが設置に取掛る手筈なりと聞く▲全北技師交迭　多年全北道廳に在りて令名ありし道技師立花通年氏は這回咸南在勤を命ぜられ其の後任として現慶南在勤の農務課勤務の技師農學士八尋生男氏轉補されたり

人事消息

▲若林辰太郎氏（大阪製氷會社員）　二十日夜入京
浦尾へ
▲野口多内氏（奉天滿洲大興合資理事）同上
▲飾多範太郎氏（飾多商會主）▲森作太郎氏（同社員）同上天眞樓へ
▲高根信禮氏（本府協議員）▲兩田有造氏（同商業會議所會頭）十八日朝退京
▲湊山雅宗氏（三井物産社員）　二十日朝退京
▲鹽谷金次郎氏（大倉組員）　同上
▲廣田直三郎氏（釜山中學校長）　十八日附出府を命ぜられ十九日佐伯旅館へ
▲三原新三氏（模範場技師）　農商務省と事務打合の爲め同日同東京に出張を命ぜらる
▲李根澤子爵　二十日水原へ
▲高野省三氏（三井物産京城支店長）　二十日朝歸任

□第三十九議會閉會の日　大鶴

武裝解いて笑聲涼しけふの宴

時間表

海雲臺から東萊へ
海と山と温泉に（二）
□□湧きて流るゝ温泉の夢の如な美しい傳說□□

朝の温泉は靜かであつた浴室の扉を開けるとなつかしい湯の香がして温泉は石の浴槽から四方へ溢ふれて谷川のやうな音を立てゝ流れ落ちて居る。ザブリと飛込んで肩まで浴かると湯は一時に四方へザブツと溢ふれて滔々と勇ましい音に流れてゆく飛び込んだ時に少し熱さを感じた湯もすぐに肌に馴染んで快く手や足を伸ばさせる温泉は

○○○水晶のやうに澄みて（湯槽の底の白百合の花）

の歌を思はせられた、耳を澄ますと湯の溢れる優しい音と海の鳴る音とが奇態に調和して懷い古絃を聽いて居るやうの澄み切つた心持に成る。たぎり落つる湯を手に受けて含むと茹鷄卵の香がして鹹味と澁味とを持つて居る温泉は森安博士吉木藥學士の試驗に由ると

アルカリ性鹽類泉に屬し無色透明僅かに温泉固有の臭氣あり少しく鹹味を帶び反應中性比重は攝氏十五度の温度に於て一.〇〇四温泉の温度は湧出口にて攝氏四十八度であつて其分析の成績は一リートル中、クロールナトリーム二.八二一、クロールカルチウム一.九四五、クロールカリウム〇.一七五、硫酸カルチウム〇.二七六、硅酸〇.〇六一鐵微量マグチシウム痕跡等で慢性腸胃加答兒慢性筋肉リウマチス及び關節僂麻質斯婦人病皮膚諸病等に特效ありとされて居る

湯から上ると其處に清冽なる井戸の水が滾々と湧いて居る此の井水も亦多量のラヂームエマナチオンを含有して居る事は本年五月中央試驗所から發表された通りである

○○○奇岩に洗はれて石疊に腰を下ろして

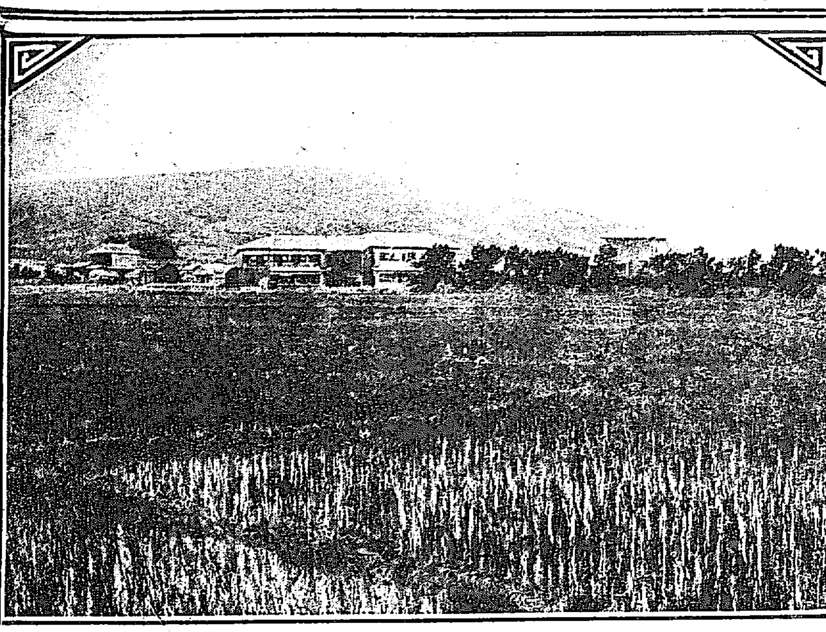
休みながら私は此の温泉に關する傳說を思ひ出した、それは闇の中で聞いた話だ……こんな不思議の事は何んでも大昔の出來事に限つて居る、其の日は大漁があつて其の上夕方から眞圓い月が海の上に輝いて出たから濱の人達は此の間から續く大漁を海神に感謝して唄つたり踊つたりして居る、そのうちに海の彼方、對馬の方から波の上をスラ〳〵と歩いて來る人が有つた近づいて見ると、それは非常に奇麗なお姫樣であつた

○○○踊れる漁師たちは驚き呆れて居るとお姫樣は

「構はないからサアモツと唄つたり踊つたりおしよ妾は其を見に來たのだから」斯う云つてお姫樣は其處に引揚げてあつた船緣に腰をかけて優しく眞白い手を拍つて拍子を取つて吳れるので漁師共は皆んな醉つぱらつたやうな心持ちで夜があけるまで唄つたり踊つたりしたお姫さんは歸りがけに『わたし此の濱は大變氣に入つたから今度の望の夜も又遊びに來るがお前達があまり垢まみれで厭やだからわたしがお湯を與るやら垢だけよく洗つてお置き』と頭に挿した金の笄を拔いて『これを其處の土に突込んでごらん』と云ふから

○○○漁師の中で第一番の美人の桂枝といふ處女

が恐る恐る前へ出て其の金笄を頂いて足元の土に突き立てると笄は耀く鳥のやうに光を曳いて天の彼方に飛び去つて其の跡へ滾々と湧き出たのが此の温泉であつた（在東萊温泉村生）



海雲臺温泉場

●獵友會の射擊大會

會は二十二日奬忠壇に於て

一、射擊申込〆切時間 同日正午限り
一、射擊料 金二圓當日辨金の事
一、會員外の射擊を許す（但し當日入會者）

◇賞品（三越吳服店に陳列）一等賞優勝大金賞牌副賞同丹頂鶴剝製◇二等賞三越商品券副賞優等金牌、莞草製物◇三等賞極編兵兒帶副賞金製チダメイピン七ミリ村田銃以下十五等賞まで

之、松原患六、安川つれ、諏訪多喜二郎、坂田悠市、西岡極次郎、猿倉つた、北村吉次郎、須川久彥、飯岡入ダグリユー、グゴーア、同チャリツリー、同アルナナー、コレー、木浦たけ、同宮四郎、中村茂吉、荒木ない [illegible]

七月十九日午後九時十分釜山入港壹岐丸一二等客 [illegible] 三等二百十五名

【懸賞文藝】課題及募集規定

[illegible]

■募集規程 ▲川柳は端書又は一枚每に紙上の雅號又は住所氏名明記の事▲締切 [illegible] 用紙 [illegible]

天氣 晴れ時々曇り（二十一日午前六時發表）

[illegible]

◎斷水中の出火
萬一の場合には 即時報知せよ

京城常備消防隊では水道の斷水時には特に自動車や馬車に液體の消火器若干宛を備へて萬一に備へてゐるが十九日午後七時貫鐵洞二九七藥種商李德善方炊事場の焚火より傍の松葉、薪に燃移り黑煙を打揚げたるを附近人民より南大門消防隊へ急報したので消防自動車は即時出場、携帶の消火器二個を使用して直ちに消止

◎臺灣談合事件 被告悉く無罪

近來の大問題たりし臺灣團子取事件は十九日臺北地方法院に於て全部無罪となれり（大阪特電）

◎松本步兵聯隊 山岳強行軍

信州松本の步兵第五十聯隊にては二十六日より炎熱を冒して信、飛、越の國境なる日本アルプス中の峻嶮を突破し未曾有の山岳強行軍を擧行すべしと（大阪特電）

◎土用入り 地方に依り電雷があるかも知れぬ 全鮮概ね快晴

二十日各地に於ける土用入の天候に就て京城測候所長の談に曰く

十七日朝千島の南部を占めたる夏季特有の高氣壓は當季としては珍らしい發達をなし其の中心示度は七百六十八粍以上に昇り本邦の東方より壓迫せんとする模樣であつたので夫れが爲め北海道方面では同朝

◇俄かに寒く 氣温は攝氏十度に下つた、其影響に據て朝鮮附近に於ても此の高氣壓の尖端が日本海を越ねて朝鮮の東海岸方面から壓迫して來る有樣であつたので十九日朝の如きは支那中部に可成りの深厚な低氣壓部位が發達せんとする模樣であつたが氣壓の影響によつて來なかつた、

◇遂に接近し 二十日朝は引つゞき各地とも穩であつて、朝鮮の北東海岸、國境方面、平壤、京城等は晴天、江原道海岸の一部は微雨、其他は概ね曇天である、十九日來鴨綠江及び奉天附近には多少の地方的降雨があつた尙ほ目下の狀勢に據れば二十日及び二十一日の天候は格別の異狀なく概ね晴天を持續すると思はれるが只だ氣温上昇著しき場合時に或は多少の地方的電雷があるかも知れない

◎墓地で斬殺さる 犯人は内緣の夫か

兵庫縣淡路島津名郡志筑町宮田ひさ（三二）は墓地にて右乳より腹部にかけ出刃庖丁を以て斬り殺され居たるが同人は一週間を經過したり犯人は内緣の夫瓦職倉格直吉の見込みにて目下同人の行衛探中なり（大阪特電）

◎亂暴妓夫二十一名處罰さる

京城北米倉町には鮮人娼妓屋二十數軒あり下級鮮人嫖客にて每夜相當賑はひ居れるが何分勞働者など多き爲め喧嘩の絶間なく狼藉を働く者あり娼妓を手古摺らせる者等多きより各樓主は無賴にて無類の強力なる鮮人妓夫を抱ね置き夜間亂醉客の取鎭めに備へ置き居れるが是等妓夫の中には前科者もあり業は用もなき爲め酒を飲みて互に喧嘩をなし夜間は僅かの縺れ事あれば共謀して外よりの素見客を袋叩きにし或は喧嘩を買ひ戲夜喧騷絶えず爲めに素見客の中には意外の側杖を食つて暴行を受くるものさへ少からざる有樣にて其の筋にても甚しきより豫て注目したる本町署は敬然署司法係にては十八日是等亂暴妓夫なる張士根（三一）外二十名を引致し嚴重取調べの上即決處分として各笞七十五宛に處罰せり

◎元山赤痢下火

元山府内赤痢病は稍下火となり初發以來の累計百三十五名にして又假病舍は十九日完成せるを以て二十日自宅治療者全部を收容せり（元山特電）

▲軍隊と赤痢

軍隊側の赤痢病は初發より兵卒六名將校一名將校家族三名に達せり（元山特電）

◎赤痢と窒扶斯

京城黄金町四丁目三十番地渡邊すが（三〇）太平町二丁目三百卅番地赤松仁（五二）京畿道楊州郡蘆海面上溪里久保吉次郎（三七）は何れも赤痢患者として十九日總督府醫院其他へ入院▲京城松格洞百二十一番地劉連吉（三）は同日腸窒扶斯として順化院へ

◎貰い紙屑 朝鮮では棄てるより外に仕方が無い

内地の御方が聞いたら吃驚りするだらうが、朝鮮では紙屑を全然捨てゝ了ふ外に仕方がないのである、尤も京城では專門の紙屑屋が五軒あつて之を買入れて内地の九州地なり、關

◇一貫目と 纏つたものは西なり乃至は船便で東京邊りへ送つてゐるが之は甚だ僅なものである。一貫目の買入相場は昨年まで一貫十錢から洋紙の入つた能く〳〵の役ざなら八錢乃至六七錢であるから、何處の家でも一貫目も紙屑を溜めるのには場塞げになるので片つ端から

◇芥溜へ棄 て了うか、又は奧さんの氣の利いた家では、燃料の足にして了う外はなかつたが近頃になつた。然るに何故紙屑の漉返し工場が出來ないかといふに、之は水の問題であるが、水は例令ば手近かの漢江なり、臨津江なりに求めて得られない事はないのに、何う云ふものか、紙の漉返し工場の出來ないのは不思議である、要するに

◇手間の掛 る割合に儲からない仕事でなく、資本の割に儲からぬといふ事に歸著する事であらう。艦褸も紙屑と同樣、物價の高直につれて昨年一貫目十四錢位のものが昨今は二十七八錢に上つた。艦褸は是まで器械を拭くのに用ふる爲め、諸工場から買取らるゝ外は、内地へ送つても引合はぬとかで紙屑ほどに騰貴しない譯である。是は凡て内地へ送るに、大阪邊りへ積出すとして、二百六十八貫八百匁一噸となし

◇此の運賃 諸掛りが二十二三圓掛る。古新聞紙は朝鮮向として冬期に需要多く、壁貼用を第一として、四季に絶ねぬ用途は袋であらう。昨年の今頃は一貫目二十七錢であつたが、本年は一時四十五六錢に激昇した時代もありしも近頃は一時四十五錢、五十錢抔といふ餘りに突飛な値が出たので三十七八錢に小弛んだ狀態である

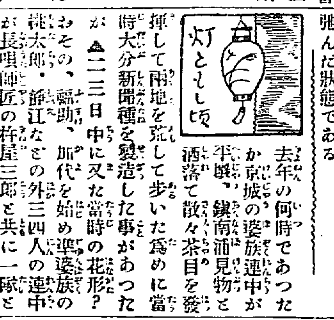
讀者文藝（一句に付き十錢拔）

△下句付『伸直り』

◎伸直り素性明せば國同志（一等） 京城 天狗生
▲—片方下戸で困らす 大塲村 秋德
▲—して困られる若旦那 龍山 多美郎
▲—相手の嘩み褒めそやし 鳥致院 拔天生
▲—二人で茶碗買ひに行き 仁川 龍 廼舍

灯ともし頃

去年の何時であつたか京城の婆族連中が平壤、鎭南浦見物と洒落て散々茶目を發揮して歩いた爲めに當時大分新聞種を製造した事があつた、その、歸助、加代を始め準婆族の桃太郎、靜江などの外三四人の連中が長唄師匠の杵屋三郎と共に一隊となつて出かけるさうだ▲此の暑いに御苦勞千萬な事と聞いて見ると今度鎭南浦の新聞の三千號記念祝賀會にサッポロビールが餘興應援として此の連中の長唄を聽いて貰ふべく派遣する事になつたので▲髪きに盛んな威儀を繕ろつて舞臺に上るのが見ものだといふ者がある▲南滿洲黑龍江畔のキントン村といふ所は太平溝から近い所だが非常に砂金の多く出る所で朝鮮人支那人の採取に寄つて來る者が澤山あるが一年以上住んでゐると失明するか脚に疾患を生じて跛足になるので黃金は欲しいが命も惜しいと言ひながら▲遂ひ〳〵盲目や跛足になる者が多いさうだ、その原因は何んでもその地方の水質が有毒なのだといふ▲物價はドコマデ上るやら一向見當がつかぬ▲前月中京城重要商品三十二點中上つたのは十九點下つたのは三點保合が十品と云ふ▲然も輸移入品乃ち吾々の日常品は一品も下らず上つて許りゐる下落したのは木炭とか牛蠟とか云ふものばかりださうな▲生活難の聲が諸方に起り米高が活動見物にまで惡い影響を示すのは成程と思はれる▲物價が高いと云へば、亞米利加は一層酷いらしく、此頃桑港からの通信によると椎茸一斤二圓六十錢、澤庵一本八十錢、切鉄一個八十錢、理髮二圓と云ふ相場だそうな、日本じや澤庵は一本五錢切鉄も一本五錢位だが、これとは大變な違ひ方▲實際日本食は贅澤品で仲々喰へないとの事



商況

公債直取引（東京特電）

	十九日出來値
五分利特別	九五、八〇
五分利公債	—
一回四分	八〇、六〇
二回四分	八一、六〇
甲五分	九五、七〇

深川在米特電

十九日現在高	
朝鮮米	五五、〇九九
臺灣米	二九、三六二
內地米	一、六九二、七四五

大阪株式

銘柄	拂込額	十九日前場	十九日後場
宇治川水	五〇、〇〇	—	—
京阪電鐵	五〇、〇〇	—	—
東洋紡績	五〇、〇〇	一五三、二〇	一五九、六〇
合同紡績	五〇、〇〇	一〇一、五〇	一〇二、五〇
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二三五、〇〇	—
同上新株	四五、〇〇	一二七、〇〇	—
東洋精糖	二五、〇〇	一九二、八〇	—
大阪商船	二五、〇〇	一三〇、三〇	—
日本郵船	五〇、〇〇	二〇〇、三〇	—
同上新株	五〇、〇〇	一三六、六〇	—
寶島米穀	五〇、〇〇	三三八、〇〇	—
東京新株	二五、〇〇	二二九、一〇	二六九、三〇
大阪株式	五〇、〇〇	三三六、〇〇	三三〇、〇〇

大阪三品特電

二十日前場	
七月限	四二二、〇〇
八月限	四三一、九〇
九月限	四三五、〇〇
十月限	四二〇、一九
十一月限	四二六、一五
十二月限	四二五、九五

大阪期米特電

二十日前場	
當限寄付	二三、八〇
中限寄付	二三、四一
先限寄付	二四、〇一

雜報

◎大連取引所動搖

大連取引所は大豆暴騰のため昨十九日午後立合停止するに到りしが本日午前立會は前場五圓四十五錢と寄付き五十錢と上りたる

◎後場復た休會となれり

◎綿糸續騰す

十九日前場に大阪綿を演ぜし綿糸龍し寄付は九限の十八圓高を張頭として何れも十圓内外より十四圓方跳上げ引値又一段上向き當限四百十九圓の後場止値は限二十一圓九十五錢九限二十五圓九十五錢十限二十三圓五錢十一限二十九十五錢と又々新高値に撥ぎたり而して硬派の勢ひ益々猛烈を加へ

▲二十日前場 一段狂暴を擅にせんの傾向なり

綿糸は開後の拍子の百圓臺に上げて以來前週の昂騰を演じ今前場は更に前後止めより二圓乃至十圓方の昂騰し九限の四百三十五圓を最に上り綿布又龍レー十二圓の新高値を報じ綿糸現物は平十六手三百五十五圓の高電なり

◎粗布三百圓臺

反動的に一層到れ先以込れし綿糸も再び四百圓臺に復せし以來前硬派の勢一段と狂暴を極め十九日後場は別項の如く當限を除く外揃て二十圓前後の新高値に撥ぎ綿布又前場に於て十一圓六十錢なりし龍シーは後場に至り十一圓九十錢を粗なご勢ひ

粗布三エー一躍二十圓上げの發表

鮮地綿布相場の粗布三エーは同日會社側にて一躍二十圓上げを發表し市中又之に勢を得內地綿布の高騰につれ市中に於ては朝來三エーの三百二三圓處にて實際取引行はれしもの

三百二十圓乃至三百三十圓を唱ふ

るが品ガスレの折柄にもあり有力筋は多くは自巳持品を手放すを欲せず寧ろ買入れ方針を取りて徐ろに高値を待つて賣出さんとするにあるものゝ如し

◎銑鐵又復昂騰

品の輸入は依然歩々しからず關西市場に印度銑の入荷あるも弗々たる有様

◎北鮮產澱粉 一層氣强

北鮮產澱粉は新物時期に近づきつゝあるが未だ情況明らかならず相場としては十九日十貫目建九圓二十錢賣の入電を齎らせり

下關相場

▲朝鮮白米は强含み 既報の如き事情の下に兎角賣氣逸まずして市況不引立なるも其後出廻り僅少なる上內地期米も堅調を持し居る爲め市況弛まずして强含みなり

▲小豆は變らず 其後出廻り皆無なるも他品との比較上安くは手放さず依然當川口への賣行きに過ぎず

▲大豆は依然手堅し 既報の如き事情の下に保合ひ買進む相人現はれず他依然產地高で引合はず且つ出廻り皆無なるのみならず知强りて居る爲め相場に強ゆる手持筋の之が弗々の出來値は左の通りなり

▲朝鮮一等白米（當用）二十一四圓
▲同二等白米（當用）廿三圓七十錢
▲同 新義州大豆 十三圓九十錢
▲同 宜川大豆 十四圓
▲同 十四圓十錢
▲鎭川再青大豆 十五圓

京城正米

氣配は前引來引續き持合ひながら地廻米は漸次減退し眼先益々買附困難の摂合ひあり此の地方の出殻如何は人氣の上に影響大なるものあるが今日迄の情勢よりすれば餘りの多くの賣物は期待し難きもの如く現況を以て尙ほ數日を經過せんか自然人氣硬化して遂に見栄棒尾の一活躍を演ずるに至るべし

京城雜穀

▲大麥 新物依然出薄く古麥は多少の在荷あるも概して品薄なれば氣配强くして古極上五圓四十錢處を上下す迄新物五圓四十錢處より六圓に▲小麥 產地値と折合はず双方睨合ひの姿にて今一段下らむには內地移

◎石油類强調 石油は運賃高

ダーリン銑三十圓跳上げ ▲八十圓頭に何れも十圓方の騰貴を現はしたるが先行益々堅硬の見込也

には各市場一般に現物廻の折柄需要は益々増進して市況活躍し鼓許又復一圓高を告ぐるに至り釜石の如きシダーリン銑三十圓跳上げ二百八十圓頭に [illegible]

石油は運賃高の影響を蒙り容器暴騰せる外更に米本ふ禁輸ありて愈々手堅く輕油及び器械油は頗りに値上げを行ひ內地市場にては最近一箇月間に約一圓三十錢餘の昂騰を告げたるが獨り燈油は居据りのまゝにて之等諸物價と逆行する觀あり

器械油類が工業勃興の餘波を受けて需用激增

せるに反して燈油は內外ともに閑散期に當れると且つは各社協定價段に制肘せらるゝ爲めなれど

亦値上げの必要に迫れるは事實

にて又た最近小賣り業者が十日前まで一圓三十錢方に賣り放ちし物も此頃一圓九十錢餘に上るに到りしが其利得を見込み出て社規定値段以上に買ひ込む者續出しつゝあれば內地市場値は却つて協定値段より割高なるの奇觀を呈するに到りしかば

各油とも更に値上げあらむ模樣なるが鮮内器械油

[illegible]

◎砂糖硬化す 海外糖の高値の

報入りて內地糖價は次第に引き締り分密糖先物は先月下旬値より約五十錢方騰貴し

昨年最高値たる十九圓八十錢に近

しと [illegible] 上進の餘地ありとの唱へなきにしもあらず [illegible]

一層氣强

[illegible]

南大門の廻穀

▲麥は品乏しく手合なきも七圓七十錢位 ▲大小豆 [illegible] ▲其他穀物 [illegible] 共外諸穀大抵持合へり

黃州白米 一〇三叺 平澤白米 二六叺
沙里院胡麻 三六叺 汗浦大豆 一六叺
仁川白米 三四〇叺 水原白米 一九叺
新羽州高粱 四四叺 中和小麥 二九叺
仁川粟 二八叺 平澤白米 三九叺
平壤黍 外二 七七叺 仁川 [illegible] 二〇叺
水原胡麻 二五叺 水原白 二五叺
平壤大豆 二八叺 水原白米 四〇叺

釜山穀物（十九日）

▲正米（保合）當市場賣り物は搭載からずして相當にあり本邦大阪定期米は正米に氣配を演ぜし氣先本日寄入電も弱らされ共後二三節は前每に商落し三節の如きは八九錢よりも當市場暫時盛返し [illegible]

生魚市場

入荷少く市場閑散なり日の丸市場建値左の如し

タイ二八、サワラ一七、スヽキ一八、ハモ一〇、アヂ二一、ニベ九、ヤス二〇、フカ七、トイタ九、小モノ八

釜山水產市場（十九日）

沿海入船及び各地近より相應入荷ありし爲め市場活氣を呈せり

入船數 百十九隻

▲タイ十三圓▲大フカ四圓▲小フカ二圓▲アヂ十五圓▲ヒラメ七圓▲サワラ五圓▲イセエビ十三圓▲ヒチ四圓▲アヂ五圓▲ハモ八圓▲ウナギ八圓▲雜魚五圓五十錢 水揚高 八百二十二圓

仁川期米

▲二十日前場（保合）

兵庫大阪前寄米著にて當地寄十九圓十九錢中先二十圓十二錢出來不申

錢と二錢高に寄付きたる

買物多く五錢と跳ねたる折柄兵庫前寄二十二錢大阪前寄二十錢

四圓〇一錢と昨止より十二錢高の入電に

確實（定期米賣買案内） 仁川海岸町 取引所仲買人 [illegible] 郞

迅速（電話六〇番・一六五・六三二番）

接 大阪 四節二十三圓と押したる折柄 二十二圓六十九錢中

先二十三圓八十一錢と臨時暴落

入電に賣物多く〇七錢と押したるが押目は又買物多く無程にも押さず十錢と返し再び〇七錢と押し十錢と依然保合の裡に下げ澁りの成行を示せり

▲二十日前場 當限〇十九圓十九錢 出來高三百石中限出來不申 先限〇二十圓十三錢三錢四錢五錢 四錢〇二錢〇三錢四錢五錢三錢五圓 〇九錢八錢七錢六錢五錢四錢二錢一錢 十錢〇九錢八錢七錢八錢 〇九錢七錢八錢 九錢

仁川米豆取引所

二十日の九月限

寄付	二十圓十二錢
止め	二十圓ノ九錢
高値	二十圓十七錢
安値	二十圓ノ六錢
出來高	三萬五千三百石

前場 平均値段	
一節	二十圓十四錢
二節	二十圓十三錢
三節	二十圓十錢
四節	二十圓ノ八錢
五節	二十圓ノ八錢

賣買取組高

七月限	一萬三千石	
八月限	一萬九千八百石	
九月限	四萬千百五十石	
十九日後場	前日と比較	
二〇、一八	二、〇九	四安
二〇、〇二		六高
二〇、一八		二安

▲土用入と天候

〇七錢と押したるが押目は又〇〇各〇其他より買物多く十錢と返して保合〇九錢と硬合を告げたり市況は一面正米の依然强硬に賣買氣配を刺戟したるも大阪の惡落に下押しあつたるが安値は正米に買へ居るより賣り込み來る手口なく存外底强き惡がある▲土用の入りにて今朝二時過ぎ迄俄かに小雨降りたるが朝來快晴▲本日は土用の入り當日にて今朝二時過ぎ迄俄かに小雨降りたるが朝來快晴市西の微風吹き頗る暑氣横行したるが日本

土用太郎の天候としては實に申分なき上天候で

あつたが愈々大天災期に乘り出したるがら今後の天候は一朝一タに豫斷すべからず吾々の此を大なる影響を及ぼすなるべし大阪入電も又今朝强きを告げ居れり

▲底意强硬

大阪の時候の結果の成行と思はるゝ或は人々に暴落に陥り居るが今前場の成り [illegible]

此際天候の順を得ば更に一段の下押し齎らすやも計り難く

[illegible]

界の情勢に重きを措くの場合なるも

[illegible] 今や天候よりも正米

又復露國行精米一萬五千石の契約成立

限月代りせんとして仁川當月

[illegible]

[illegible]會射擊[illegible]左記の如く[illegible]
一、大會を擧行すべしと
一、大會擧行日 七月廿二日(日曜日)午前九時より
一、場所 [illegible]
▲射擊方法(第一種)[illegible]
(射距)十回初射二點次射一點 滿點二十點 十回初射
(第二種)一、五發 [illegible] 四十點 第二種合計滿點六十點

◉連絡船上陸客 十九日午前八時入港さくら丸一二等客
一等(五名)高野省三、奴留湯穗策、大内鶴二、英國人ハール、同エルハール
二等(五十一名)坂本傳次郎、牧原初瑞、明太拉利亞人エヌ、スコーアス、淸水つれ、三津家傳、安孫造、永吉實臣、宇田勉、諏山等太郎、宮田つる、緒方六、露國人ジエン、スペンクス、同ピコロア、同テイ、ボツノ、同テイ、ボリラツノ、同[illegible]、同コノ、ボス、同スペ、ボリスト、同コヲボリード、同テイ、デボリード、同ナロ[illegible]、同エムラ[illegible]、ヒロエドワード
三等(二十八名)[illegible]

東萊 海雲臺 探涼會計畫規定

◉七月廿八日夜出發卅一日朝歸著
◉會費僅に拾貳圓一切の費用支辨

計畫

◉第一 盛夏涼を想ふの時兩社主催を以て來る七月二十九日(日曜日)三十日(明治天皇祭)の休日を利用探涼團を組織し海水浴場海雲臺、溫泉場東萊の名勝を巡訪し二日間の淸遊に俗腸を洗ふの快擧を決行す

◉第二 盛夏白晝の大暑を避けて汽車は往復共夜行列車を撰定し往途は二十八日午後七時五十分南大門驛發列車(龍山、仁川、柵峴三驛より乘車する方は必ず此列車に接續乘車の事)廿九日午前五時四十分釜山着小憩後汽艇に分乘海雲臺に向ふ

◉第三 二十九日午前八時迄に海雲臺旅館海雲樓に投じ入浴後朝餐更に同所に於て午餐海に山に一日の淸遊に飽き再び海路午後六時迄に釜山著七旅館に分宿す

◉第四 三十日午前九時釜山發借切電車にて東萊溫泉場著入浴休憩の上正午より東萊形勝の地に於て園遊會開催午餐終りて模擬店を開く
模擬店はビヤーホール、氷水屋、燒鳥店、おでん屋、しるこ、ひやし素麺、蕎麥屋、お汁粉屋の六店にして釜山より內地藝妓、東萊の鮮人妓生各若干名接待の任に當るべし

◉第五 園遊會後悠々半日を靈泉に浴し四邊の勝景に飽き晩餐後午後九時東萊發電車にて釜山著夜行列車に乘替へ三十一日午前京仁に歸著す

規定

◉第一 探涼團員は重に京城、仁川兩府より募集す可きも其他京城、仁川以南の各地方より參加を希望せらるゝ方は京釜線途中驛より便宜乘降差支へなし
但し會費には一切割引なき事を豫め承知ありたし

◉第二 團員は內鮮人、男女、老若の制限なし

◉第三 主催兩社は東萊、海雲臺探涼會を實行するに當り
會費 金拾貳圓也
とし左記一切の費用を支辨す此會費金額は實に京釜間往復三等普通賃金と同一位なり
一、京仁より釜山間往復汽車賃金(三等)
二、釜山、海雲臺間の往復汽船賃金
三、海雲臺旅館海雲樓休憩代及び食費
四、二十九日夜釜山大池、鳴戶、松本、岩井、荒井、朝波、岡野以上七旅館宿泊代
五、釜山、東萊間の往復電車賃金
六、東萊溫泉場休憩代食費
七、東萊溫泉に於ける園遊會費一切

◉第四 主催兩社は前記第三項に記載せる一切の特權ある探涼團切符を發行頒布す

◉第五 入會希望の方は住所氏名を明記し會費金拾貳圓を添へ京城日報社東萊、海雲臺探涼會係宛申込まるゝ時は前記一切の特權ある探涼團切符を交附致す可し

◉第六 入會申込後止むを得ざる事故あり中止の場合は二圓を手數料として申受殘額拾圓を返納す

歡迎

釜山を始め東萊、海雲臺等の官民有志は兩主催社の主旨を諒とし同地方の三四團體及び官民有志は探涼團に對する歡迎の微衷を表彰す可く種々計畫中にあり今日迄に確定したるは
一、釜山の朝鮮瓦斯電氣會社にては電車貸切の大割引は勿論當日に限り同社經營の東萊溫泉場大浴場及附近建設の宏大なる休憩所を全部團體の爲に解放せらる
一、東萊繁榮會にては卅日晝間の園遊會場に食堂及餘興舞臺の設備を擔當し猶ほ團員接待の爲め二十九、三十日の兩日共東萊の妓生數十名を提供す
一、海雲臺海雲樓にては一行を迎ふる爲め第一、第二の海水浴場を整理し椅を建て幅六間長さ十二間の大天幕を新調し又脫衣場を設け諸多種の[illegible]一行を待つ
一、釜山水產會社よりは數籠の鮮魚を一行に贈りて款待を盡す可し

主催 京城日報社 每日申報社

溪間の四時間 瞬間の其の思ひ出

鎭海要港部司令官 東鄕吉太郎氏述

總て何事に限らず危險に臨み或は死生の間に作業する時若しくは不慮の災難に遇ひ負傷等の場合には渇を感ずること甚しきものなり果せる哉血に塗れたる負傷者は水を〳〵と呼ぶ聲の聞ゆるあり依て溪谷に下り水を汲み來り自動車用鑵油鑵の蓋の如きものを以て水を飮ましむるが如し斯かる場合の水一滴は甘露の夫れより甘し屢危險を冐して渇を感じ其時の水の異味を覺わたる人にあらざれば甘露の味は說明し得べきにあらざるべし予も亦其水の恩惠に浴し一杯を傾けて渇を癒することを得たり然れども

▲油鑵の蓋なれば 油臭きこと限りなく臭氣鼻を衝くも水には代へ難く覺わたり餘程時過ぎて里餘を距てたる某地駐在の警官並に郡北より數名の邦人馳せ來り假りに負傷者の手當をなしたるは遭難者の爲めに深く感謝する處なり又晉州、馬山に通知したれば軈て醫師も來るべしとのことなりき身は溪谷に落ちながらも幸か不幸か往事を回顧し予は溪谷と我身の因緣を想ひ起さゞるを得ず又た溪中に墜ちて死せざるは天祐なるか但しは命數なるか將又其時の運に歸著すべき乎と既往に鑑み現狀を察し

▲轉た瞑想に耽り つゝあり想ひ出せば明治四十四年四月十五日なりき臺灣に於て東海岸を旅行し昇南より花蓮港に出づる途中迪佳附近に於て「トロック」の脫線に逢ひ跳ね飛ばされて斷崖絕壁の谿谷中に落ち三四間のところの中段に辛ふじて留まり一命を全ふすることを得たり其時跳ね飛ばさるゝや路傍の木に手を掛けたるも支ふること能はずして靜かに谷の中腹に落下し僅かに擦過傷を受けたるのみにて事濟みぬ地形より云へば今我落ち居る谷よりも甚だ險峻にして斷崖直截其深さ數十間なり一度之れを瞰下すれば覺わず慄然たらしむるものありき斯くの如く予は二度も溪谷中に落ちて然かも猶ほ生を全ふすることを得たるは世の所謂天祐乎命數乎將た幸運乎予が谷底に落ちし現場の

▲直覺的感想を以て之れ を云へば是れ天公の人を弄する一時の戲事にして生も死も重傷も輕傷も又た無事なるも其機に觸れたる瞬間の運に在りと云はんのみ又漏るゝ漏れぬの天祐を云へば死者には非なり依估なかるべき神の加護を云へば餘り差別多くして偏頗に失し善因善果惡因惡果を云へば思索は穩健なるが如きも不慮の災難には適應せざるに似たり過去の因緣に依り此世に持ちて生れたる命數とし又は前世の宿緣なりと云へば雲を摑むが如く邈漠として夫れ悠遠なる哉觀じ來れば上には即死を遂げ下には重傷を負ひ右は輕傷左は無事にして流血淋漓の慘狀裡も千差萬別なり生も不思議死も不思議と思へば嗚呼運なる哉命なる哉人は

▲唯人事を盡して天命に 安んずることそ良けれ猶ほ予は想ひ起さざるを得ず我が澁谷東鄕一族の祖先は薩州川內の附近なる東鄕といへる所に相州早川の庄より下向したる澁谷庄司重國の次男實重を初めとし兄弟五人の一族なり此澁谷の一族は任國司大前氏を壓迫して其附近を領せり實重より四代の孫賴重の長子を太郎次郎重親と稱せしが大前氏が島津氏の勢援を得て其勢力の日に盛なるを慷慨し家督を弟重淸に讓り領內安諸子孫繁昌の祈願を起し身自ら甲冑を着け蘆毛の馬に乘り九月二十九日當郡寺山の溪谷中に懸崖の上より馬を躍らして入定す是れ一身を犧牲に供し澁谷東鄕一族の隆興を圖らんと欲する心願なり其時遺言して曰く我れ往生の後一靈驗を見るべし其所に我が廟を立つべしと入定の後ち寺內より西北の方位に當り

▲權現山の櫨の木 に夜々燈光の現はるゝあり即ち此地を卜して祠を建て親大明神と尊崇す即ち我家の內神なり我が祖先は有意に馬を躍らして深く溪谷に飛び入り我れは無意に自動車を躍らして郡北の懸崖に墜落す我が祖先の子孫繁昌の宿願は天文の初めより永祿の餘年に至り島津貴久公の爲め其征服に遇ひ勢威日に蹙迫し遂に破壞されしと雖も今日に至り吾人を加護し給ふにやあらんなど迷想に入れば何となくふかしぎのものなりと思ふ節なきにしもあらずと

▲身は溪底に橫はり 傷抉の痛みを忍びつゝ暮れ行く空を眺むれば歸りを急ぐ小鳥の殊更に喧しく鳴き渡るなり日も早暮れ掛けんとす軈て晉州より醫官も來るべしと待つ間にも前に見るものは頭部を傷け血にまみれて倒れたる負傷者と松が根に留まりて破損したる自動車なり抑もこの自動車は物質的文明の產物にして世には便利なるものと云へ不德義の一塊物なり人は自動車の多寡を以て其國の文明如何を卜すといへり予は謂へらく自動車橫行の多寡は其國の

▲不德義漢の橫行 如何を卜するに足ると歐米の例に見ずや殺人强盜は此自動車を利用し又た諸種の惡行爲も公道中に於て之れを利用するにあらずや又た之れを我が帝都に見よ傍若無人に廣くもあらぬ道路を疾走し行路に砂塵を起して衆人を苦しめ加ふるに臭氣を公道に殘し或は泥濘の中をも注意せず無法に快走して泥を飛ばし公衆の服裝を汚して人の迷惑も顧みず或は小兒を轢殺し老婆を引き倒し馬を驚かし車を顚覆し路側の小店を破壞し過失の挨拶は愚か最大速力を加へて疾走し去る然かも

▲成金輩が葉卷の 煙を靡かし其乘客と在つては目も當てられず今眼前に粉碎したる自動車よ汝等が罪は斯かる罪惡を犯すが故に汝も又此慘狀に陷りたるは自業自得といふべし將來乾度注意せよと之れを叱責するも恬として恥ぢざる其爲體の心憎さよと我が身の痛みも薄らぐに附けそぞろに洒落なることども想ひ起しぬ軈がて轟々と聞えしは不德の聲にはあらで實に此時に限り感謝に堪へぬ自動車の音なりけり之れぞ相前後して晉州、馬山より救護の爲めに來りし吾人は懇篤なる手當を受け擔架にて溪底を出て自動車に移さる既に夜に入りしかば陰鬱の闇路を靜かに辿りつゝ郡北指して歸りける時に溪底の苦吟あり土橋醫官に示す(完)

自動車のかむ眼兼て出路より谷の底へと飛んだ災難

浪花節だより

◆浪花節で涼み淨瑠璃の催された初日の夜、樂屋に落合つた細呂木の二太夫が思ふ樣に手が廻らぬので三味線には閉口すると同じ樣に澁すさ傍にゐた細太夫が私も三味線は大嫌ひだと合槌を打つ◆しかし細太夫は以前禿で立つた人、昔取つた杵柄で挨拶さは三人の中で一番鮮かだ、それ迄ふさ太夫が稽古槌になつて三味線を覺ねるといふ苦心も一通りであるまい◆尤し太夫で三味線を彈く者は澤山にゐる、若手太夫や東京の今の攝津太夫なども以前が三味線彈きだけに各手際が好い、朝鮮に來た太夫では亡くなつた八重太夫なども語りも糸も實に立派なものであつたと聞いた◆しかし達者に彈くと云つても素人の餘技なだけでは困るテ、私は三味線の事を思ふと多年耳馴れた野澤松太郎を思ひ出さずに居られぬ何んと云つても三味線は男でなければ不可ぬ◆當地に馴染みの深い鶴澤小庄が師匠を廢業するさいふ噂がある、眞僞か嘘か知らぬが男の三味線の尠い京城では小庄君の隱退は實に惜みても餘りあると思ふ

◉美術同好會例會 京城本町二丁目朝鮮美術同好會にては第十回例會を來る廿二、廿三日の兩日開會し主として油座和尙の筆になるもの及び其他秀拔なる書畫骨董を陳列する由因みに會員に非らずして出品せらるゝ向きは廿一日中に現品を添へ申込まるべしと

◉伊藤痴遊來る 講談師伊藤痴遊は二十日朝釜山着同十時三十分發列車にて京城に向ふ(釜山特電)

◉高野山施餓鬼大法會 新町高野山に於ては來二十日午後八時より二十一日午後一時より施餓鬼を執行し說教經に都[illegible]向あり

◉日報俳句例題 朝鮮三面記事に依[illegible]「涼」は「涼」の誤りにして「涼し」とし可きのに付正誤す

滸の砂

■命懸けの戀 靜岡縣庵原郡相良町[illegible]七平(二五)は十三日夜豫て懸想してゐる同村名波小作の娘はつ(一九)の室に忍び込んだ際家人から强盜と間違へられたのを恥ぢて軒下に逍遙し柱に御幣を結びつけ其の下で短刀自殺を遂げた

■白晝の狼藉者 福井縣立福井高等女學校生徒相澤てる(一七)は後備陸軍砲兵中佐の令孃で飽くまで美人だが十五日朝例の如く登校の途中福井市寶永町上町通りで新聞配達夫細谷仙太郎(二七)の爲めに危ふく辱められやうとした際悲鳴の聲に附近の者が駈付けて辛つと虎口を免れ仙太郎は間もなく捕つた

■萬引三人組 山口縣阿武郡生れの山下房一郎及び同人姉しの、柳瀨くらの三名は共謀し福岡熊本佐賀若松八幡小倉等で數千圓の萬引をなし十三日小倉署に捕へられた

りん病 消渇
を早くなをすには柳瀨陸軍藥劑官が苦心してりん病のよく直る事をくわしく書いた本を無代で差上げますからハガキで申込あれ秘密に送る
東京本鄕區東片町九三 中央藥院

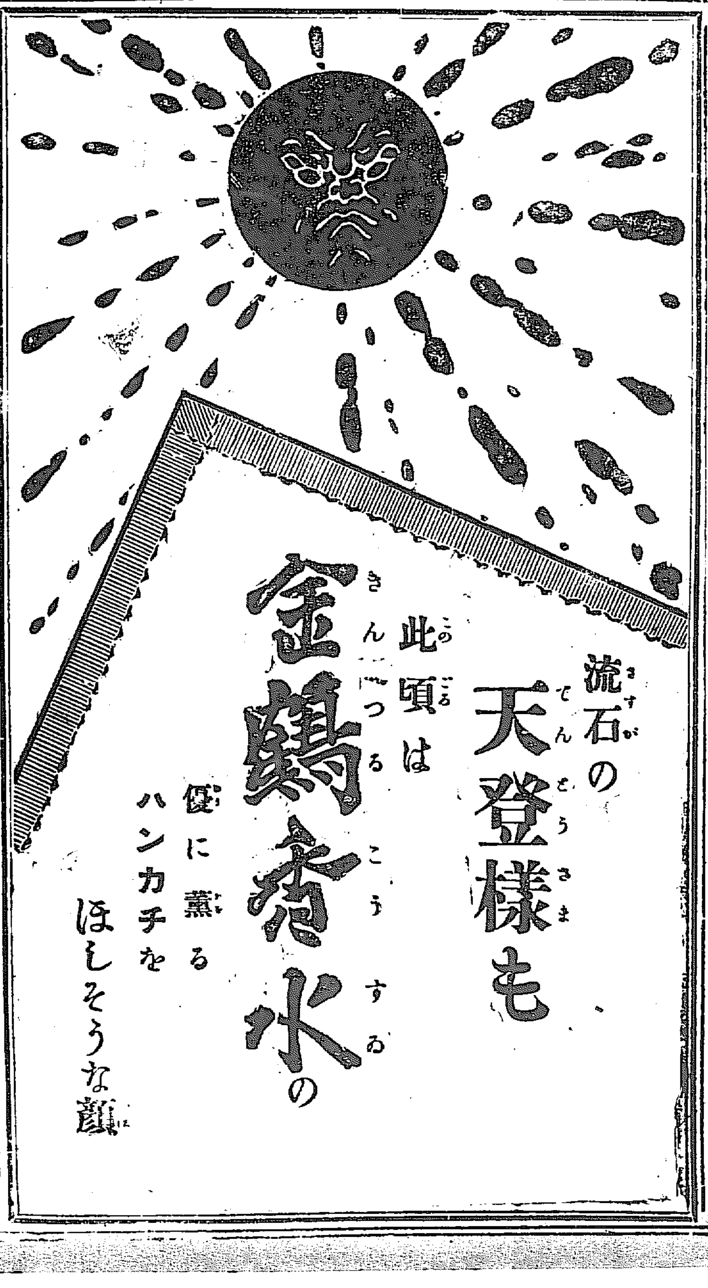
目ニ見ヘテ ズン〳〵キク ジユマズイタマヌ
井上博士ノ ロート目藥
眼病を、不潔い布や指頭で擦るのは目の爲に悪いからロート目藥には消毒した布と、下圖の樣な新案の點眼器を添えてある
御近所の各藥店にあり 大瓶(廿五錢)小瓶(十五錢)
本舖 東京・大阪 山田安民藥房
布 点眼器

七月廿日ヨリ同廿六日迄
蚊帳大賣出し
京城明治町 唐川吳服店 電話二六一番

東京帝劇出演女優劇
納涼劇開演
新劇座山村都紀子一行來
當廿一日より七日間 午後正六時開演
◉新らしい芝居!!
第一回
一、新日本劇 茶を作る家 二幕
二、西洋家庭劇 嵐の夜 一幕
三、歌劇 おてくさん 一幕
四、喜劇 芝居道樂 一幕
◉美しい女優!!
於 壽座 電話五七八番

懸賞尋人
一、七里幸一 明治十二年十一月生 大阪府平民 特徵 目玉大なる方 眉濃き方 丈普通
一、明治二十九年九月以降十月五日頃迄臺中縣土木課臨時傭人見習となりしことあり
一、同廳御用受負人岐阜縣生池本(臺敎街梅月樓主人)の扱に係る傭人
一、同年十月八日頃南投廳下埔里社に向つて出發したり
一、其後の消息不明
一、右本人の現住所を突留報知せられたる方には金千圓を呈す
一、又死亡年月日及其場所を的確に通知せられたる方には百圓を呈す
一、其他搜索上の便宜(例へば當時同人と同居せる者の通知)又は其後の消息を的確に通知せられたる方へは金十圓を呈す
一、期限大正六年九月三十日限
通知先は大阪市南區天王寺松ケ鼻町五四七三番 安藤外宛

★サッポロビヤホール
龍山漢江通り 龍山軒 電話五一〇番



△川柳 [illegible] 同廿三日
△物は付[illegible] 同廿四日
△「[illegible]」 同廿五日
△下句付「まつすぐに」 同廿六日
投書 一週間以內に劇評又は同案[illegible] 五十錢書籍券を呈す
何書何號と明記に限る 京城日報編輯局課者[illegible]係

豫報
▲京城溫度 七月二十日午 [illegible]

明君道中記

第二百十二席　田邊南龍口演

吉永東馬は密に毒藥を整へて是をおなかに渡して置きました、おなかは右の毒藥を受取つて或夜庄右衛門が寢酒を用ゐる時に人知れず其の中へ入れたものか庄右衛門は强ての苦しみ醫者よ藥と手當をしたが、其當時の醫者でございますから診定はつかない、日頃から大酒を過すによつて吐血であらうといふことになりました當今と違つて其の昔のことだから何事もなく濟んで埋葬をいたしてしまいます、おなかは此の上は寡婦を立ると云つて殊勝らしくも佛いじりをいたして居りまする、吉永東馬は心中に喜び 東『俺はおなかが旨く遣つてくれた此の上は俺が謀を以て彼の家に入夫するのだ誰あつて俺達が庄右衛門を殺したとは思ふまい惡事も恁う旨くゆくと忘れられぬ』と時節を待つて居ましたがもう宜からうと思つたから或日大月の前へ出て東『和尚永く世話になつたが俺は此程身の行末をつく〴〵考へて見た處何うも侍は厭だ、一層町人となつて氣樂に世の中を送りたいと思ふが 大『然て町人になつて何を爲さる 東『俺は道具が好きだから道具屋にならうと思ふ 大『何に道具屋に 東『それについて和尚お前に一ツ頼みがあるが聞いて貰ひたい 大『頼みとは 東『あの芭蕉屋庄右衛門が死んでから女房のおなかが寡婦となつて跡を遣つて居るが、何うも女の手際では旨く叶かないから入夫をしたいといふ話を聞いたが、和尚お前から一ツ話をして俺を芭蕉屋へ入夫さしてはくれまいか 大『先方で何といふか知らんが然ういふことなら一ツ話して見ませう』是から大月和尚が芭蕉屋へ參つておなかに話をするとおなかは大層喜び なか『あの吉永さんなら結構でございます、何うか一ツお願ひ申します』大月和尚も心中に訝しく思つて、オヤ〳〵二ツ返事でおなかが承知をしたが事によつたら世間の噂に違はず前々から出來合つて居たのではないかと思つたが、然し證據の無いことである故、そんなことは云へません、茲で双方の話が極つて吉永東馬は芭蕉屋へ入夫いたし大小を捨て町人姿となり二代目の芭蕉屋庄右衛門となつて商ひに精を出して居ります、誰あつて庄右衛門を殺したものと思ふ者はございません、去るものは日々に疎しとやら始めの内は近所の者も兎や角云つたが今は噂をする者もありません、夫婦仲も睦しく日を暮して居りまする、お話變つて此方は伊豫大洲在須戒村名主德右衛門の倅德之助が或日父、德右衛門に對つて 德『阿父さんお願ひがございますが肯いて下さい 父『願ひとは何だ 德『私も緣あつて治兵衛の養子になりました處があゝいふことで養父は果敢ない最期をいたしましたが殺した奴は吉永東馬に相違ございませぬ、依て私は仇討出立いたし養父の敵吉永を討つて此の無念を晴し度ございます、何うか暫くお暇を頂かして下さい 父『オー伜能く云つた、それでこそ俺の實子、何うか治兵衛殿の敵を討つてくんなさい、然し相手は何にしろ劍術遣ひお前は百姓の子で何も知らず、取分け子供の細腕のことであるから吉永に出遇つた處で討はせず、緣家で播州龍野に町道場を開いて居る戸塚源内といふ人がある、其の人を頼つて劍術の修行をしなさい 德『ハイ 父『腕前が出來たら仇討發足をして敵吉永を討取り俺共の無念を晴してくれる樣 德『畏りました』茲で德右衛門が書面を認め德之助に遣はしたから德之助は旅裝を整へて播州龍野の戸塚源内を探ねて參りまする

外科　花柳病　ひふ病　京城旭町一丁目三　牧醫院　更科本店裏

チヾミ　メリヤス　夏シヤツ　クレープ　㋑鈴木支店　京城本町一　電一八七二番

免許　土用ヤイト　狩野　本町二丁目（山本旅館前）電一三二六

七月廿二日　日　舊六月四日乙丑　本命二黒坤破先負

▲二黒 頭押に來る事有り 新事見合東方は吉 緣談 坤 ▲三碧 氣忙敷事有り落付て 新事手控 普請は妨なし ▲四緑 善惡平等の日なれど 新事控目の方吉 植木を植るは吉 ▲五黄 万損を生ぜんとす新事手控 萬事は吉一切のかけ事禁ず ▲六白 見込の當目轉居入學金談求職 白 自惚の事有り新事手控 ▲七赤 大儲有り旅行入學名利 造船婚禮金談 ▲八白 かるべし ▲九紫 名利兩立の日轉居 弘 金件求 旅行 婚禮 山登 萬吉 ▲一白 紹子 扱の事有り新事手控 女子は心を美にもたるべし

演藝案内

京城壽町　電話七五八番　壽座　內地各大劇場に於て大好評を博した帝劇女優山村都紀子以下男女優三十餘名來る　一行は廿日乘込み廿一日初日に決す

京城壽町　電話一〇〇　壽館　當る七月二十一日午後正六時より　第卅八回筑前琵琶温習會　旭翠會　曲目▲赤垣源藏 水汀 ▲常陸丸 水岳 ▲大高源吾 水節 ▲臺灣入 水浜 ▲常 ▲茶臼山 水映 ▲千手の前 水睡 ▲護良親王 水 ▲湖水渡 旭祥 ▲川中島 旭晧 ▲靈馬 ▲本能寺 旭彩 ▲芳流閣 旭王 ▲木內宗吾 一聽 ▲屋島 旭嬢 ▲實盛 旭水 ▲小松原 （應援）旭昇 入場無料 下足料五錢

明治町　電話二六〇　浪花館　◎有名なる新講談伊藤痴遊師來る　初日演題◎二十一日より開演向一週間日延なし◎秀吉の出世譚 旭堂南昇 ◎快傑高杉晋作 ◎陸奥伯外傳 宗光丸 ◎江藤新平（上）、大久保利通（三席）痴遊　入場料一等金九十錢二等金七十錢三等金四十錢

早川演藝部直營　有樂館　電話（階上）四九七番（階下）二〇五番　東京小林商會・米國ユニヴアーサル會社一手代理店特約　當る十六日より六日間大名題と連鎖劇　◎米國ユニヴアーサル會社特作　▲人情劇『良心の叫び』全五卷　世界的連續大名題全十六編三十二卷　▲◎約編『紫の復仇』第十五編第十六編完結　約二箇月に互り京城の天地を震駭せしめたるフオード氏、カーナード嬢の奇しき競爭は愈々本編を以て完結す、疑問のパトリヤーの解決や如何　◎新派劇連鎖『俠艶錄』全九卷　佐藤紅綠先生不朽の作　東京小林商會本年五月の特作　出演　劇中の劇『□の井子別れ』演藝士劇　力枝さ浦尾が瓣と仲で子迄あつたが藤雄は手を切つて……

櫻井町　電話八七三　大正館　日本活動寫眞株式會社直營　七月廿日より納涼特別興行　▲チヤプリン大會番組　荒天のニコ〳〵チヤプリン大會と餘興大寫眞　◎實寫 丁抹の近衛兵　◎米國キーストン會社特作　▲年收百三十萬圓の世界最高給取り滑稽俳優チヤプリン　◎滑稽活劇チヤプリンのパン屋 全二卷　◎滑稽活劇チヤプリンの拳鬪 全二卷　◎冒險喜劇チヤプリンの怪探偵 全五卷　△世の中の……　◎番外餘興　△お馴染の松之助一派の大車輪　◎舊劇二代目兒雷也 全四卷

電話二六三七　六五二　黄金館　天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店　△七月廿日より中元御禮特別大興行　◎新派大悲劇『涙の海』（全十八場）村田正雄熊谷トン合一派　（芭蕉屋の悲劇を演じて得寶に入れ候）　◎舊劇 女忠臣藏女義士傳（全三卷）　△米國ユニヴアーサル會社作　◎泰西お伽『野花姫』（全三卷）　豫告　其他實寫滑稽取揃へ御覧に供す

本町五丁目　稻荷座　竹川馬生、原晴夢、桃中軒富士右衛門三座長大合同特別大興行　當る七月十六日午後六時開演五日間限り　○荒木武勇傳（原辰巳）○玄海の浮雲（廣澤虎光）○柳生旅日記（藤川炎春）○義烈白傑（原晴夢）○寛永御前仕合（桃中軒富士右衛門）○佐倉宗五郎義民傳、灘波戰記（竹川馬生）　○三座長の內桃中軒富士右衛門は大阪若手浪界中の錚々たるものにして今回特に招き一大合同……入場料に大勉强特等の外金十五錢均一

りん病　多年の慢性も自宅で安全秘密に治す　良藥の自宅治療書を無代進呈す　消渇で困る方　切手三錢送れ　名古屋市南かじや町　武藤亀吉

安い　強い　タイヤ壹本壹円九十錢　チユーブ同八十五錢　耐力五千哩以上保險附　其の他上中下種々有之候　カタログ切手御申越次第送呈　大阪西區北堀江御池通六丁目二七　大阪ゴム製造所　電話西一九二四番　振替大阪二〇五番　26 28 吋二種あり　小包送料賃申受

女子の本分

▲料理の出來ぬは女一生の損
▲禮法を知らぬは女一生の耻

▲一擧兩得の妙案

女子の本分は、婦道を守り、家事に專らなるにあり。茶の湯、生花、音樂等の如きは、趣味を向上せしむるに必要ならんも、更らに肝要なるは、家庭料理を研究し、禮儀作法を習得するにあり。女子にして此の心得なくば、如何に趣味の向上を努むるも、遂に實務的婦人となる能はずして、女子の本分を盡し難かる可し。家庭料理の研究は日々三度の食事を、經濟に、美味に、また滋養あらしむるを得べく、禮儀作法の習得は、日常の座作進退に度あらしめて、恥なからしむる要意たる可く、女子たるもの必ず習得せねばならぬ事どもなり。されば婦人界近來の傾向として、女子は何人も料理の研究と、禮儀作法の習得に心を用ひつゝあるが如きも、何れも最良の講習法無きに惱むが如し。

▲板垣伯夫人は

此點に留意し、夙に東京割烹講習會を設立し、同所より講義錄を發行し、家庭の婦人に、坐ながらにして、料理と、禮儀作法とを、容易に講習し得るの便宜を與へ、實務的婦人の養成に心を盡しつゝあれば、今茲に同會發行の家庭料理講義錄の內容を紹介すべし。

▲年中行事ご料理

▲正月さ追儺 ▲孟蘭盆 ▲雛の節句 ▲端午の節句 ▲七夕祭 ▲十五夜 ▲重陽の節句 ▲七五三 ▲大祓さ除夜 等の年中行事は趣味ある講述をなし、附するに其の料理を以てし、尙 ▲婚禮式 ▲出產祝 ▲誕生祝 ▲還曆、喜の字、米の祝等の、人一代の行事も、悉く詳細に說明し、其の料理法を講述しあり。

▲日本料理科

▲各種會席料理 ▲三汁八菜 ▲二汁七菜 ▲一汁五菜 ▲一汁三菜 等の日本固有の料理を始めとし ▲家庭向惣菜料理 ▲即席料理 ▲晩酌料理 ▲季節飯の炊方 ▲老人、小兒、病人の食物等、實益と趣味を兼ぬる記事頗る多し。

▲西洋料理科

▲歐洲各國料理 ▲米國の料理 ▲正餐の献立 ▲略餐の献立 ▲日常料理 ▲一品料理 ▲パンの製法 及び珈琲紅茶の入れ方まで西洋料理に關する事項は、詳細に說明しあり。日本料理、禮儀作法の概と相俟つて、本講義錄の中心記事と思はる。

▲支那料理科

支那料理は、最も進步せる料理なり。本講義錄は其の點に留意せるものと見ゆ、毎號十數種の料理法を講述せり。

▲和洋菓子科

實用に家庭の娯樂を兼ねたる高尚なる和洋兩種の菓子製造法を講述す。

▲漬物

漬物は日々の食事の必要品にして、鹽加減等の頗る困難なるは親ら手を下したるものゝ等しく曉する所なり。本講義錄がこの點に心を用ひたるは嬉し。

▲禮儀作法

料理の講義錄に此の關あるは、同會目的のある所を察し得べく、編輯の苦心も亦此處にあるべし。此の關には ▲日常進退の座作 ▲男女着衣心得 ▲和洋食卓法 ▲嫁入り、娛約、等まで、凡そ心得ねばならぬ禮儀作法に、悉く圖入にて說明しあれば、何人も容易に會得するを得べし。

▲本講義錄の特色

本講義錄の特色は、其の記事が悉く實習の結果たる事なり。同會には附屬の女子割烹學校あり、又禮節研究會あり、何れも斯道の專門大家を以て、其の講義實習せるものを、直ちに記事としたるが本講義錄なり。されば本講義錄が他の講義錄と全く撰を異にせるは勿論、文章平易、總振假名を以てしたれば、何人にも容易に領解さるべし。而して其の講義が常に季節を追ひ、一も季節外れのもの無きも、亦この講義錄の長所と云ふべし。

▲會員募集

目下同會は會員の大募集中にして、此の際の入會者には、種々の特典あれば、入會の最好機會なるべし。會費は一ヶ月三十五錢。三ヶ月一圓。六ヶ月一圓九十五錢。一ヶ年三圓六十錢なり。

▲入會の手續

極めて簡單にて「ハガキ」に講義錄送れと書いて申込めば、直ちに會員として送本し、會費は後に其の地の郵便局より集金に行く故、何の手數も無し

▲五大特典有り

入會金免除　料理盛撰進呈　六ヶ月前納者には家庭寶典　一ヶ年前納者には記念メダル及び婦女

▲內容見本

希望者には、請求次第無料進呈すと云へば、遠慮なく申し込まるべし。尙ほ同會は振替口座東京一九四一〇番。電話下谷五六九二番なり。

東京本鄕元町一ノ三　東京割烹講習會

中風病　余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其恐き實驗より得たる良藥を郵券二錢添付照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す　▲兵庫縣明石鍛冶屋町　加古忠兵衛

あざ　そばかす　ほくろ　いれずみ　●全治して喜び證狀が山の如く着院す　捨置けばハヂになる今なを醫學界に名聲有る醫學博士一等軍醫官音尾博士先生が數年間苦心研究の結果藥をつけた處が人に知れずに決して害なく不思議にヨクキク信用と責任ある藥を創見致しました是迄種々な法々や無責任な賣藥で治療しても効無お困りの人も從是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府下淀橋町柏木百二十番地東京博愛藥院」宛にて申込めば確實、安全に治療の出來る自宅新療法の本を無代進呈す

わきが　特効藥ワアーザーを御用ひあれ藥價六十錢一圓　京城黄金町三丁目　山田文條堂藥房　電話二九四九　にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は

小兒良藥　奇應丸　主治　眩暈　氣絶　五疳　効能　解熱　疱瘡　麻疹　大阪天滿橋　樋屋合資會社　樋屋　（全國到る處の藥店にあり）

朝夕の冷氣に　ねびえ　にを御用心あれ　■コドモのねびえには小兒解熱新藥　オイン　に限る　藥價十錢・二十錢・三十錢　■大人のねびえ又はかぜねつには……蛇印アンチピリン丸を　スグ服用あれ　確に効あり　價十錢廿錢五十錢■全國各藥店に有り　本舗東京箔屋町　大阪心齋橋　丹平商會藥房

猿印　月虎印　のみとり粉　南京虫、蚤、虱、油虫、蟻、蚊等全滅保證　滅蚊線香　帝國醫科大學卓効證明　內外國博覧會賞牌受領　INSECT POWDER　上山静藏謹製　製造所販賣所　紀州有田郡山田原　大阪順慶町二丁目　上山静藏製

旅行用具一切　毛布新荷著（格安品）　二枚續き三圓五十錢四圓五十錢五圓五十錢以上　□鞄製造バスケツト　□柳製專賣品トランク　□雨合羽防水布引マント（雨合羽地もあり）　□魔法瓶及中瓶取替　□蛇ノ目雨傘番傘小供學校行傘　京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

優等清酒　菊正宗　釀造元　富安本店　福岡縣三井郡山川村　發賣元　京城永樂町二丁目　富安京城支店　電話

移轉改築治療室設備中の處落成　見習看護婦募集　京城府廳裏通り　稅所齒科醫院　電話三〇六八番

致富之栞……商報……送呈　大阪堂島米穀取引所仲買人　片山政藏商店　多少に拘はらず御用命の程奉願上候　堂島濱通一丁目　電話長北六四三　一一〇一　一一〇二

假移轉廣告　各位益御清福奉賀候陳者弊店儀永樂町二丁目に於て營業罷在候處市區改正の爲め從來の店舗は取除かさる可からず候に付（同町に更に建築中）當分の間左記の所に假りに移轉仕候間倍舊の御引立奉希上候　頓首　七月廿日　京城黄金町（百九十一番地）（若草町四ツ角）　銘酒一鶴發賣元　本莊酒店　電話六五四番振替京城六二〇番

京城日報

第三版

七月廿一日（夕刊と合せて八頁）

京城日報 歐洲戰爭と交戰諸國の陸軍（一） 軍國的擧國一致

現在歐洲の戰亂は勃發以來茲に滿三年に垂んとして、全歐の戰局は猶擴大せられつゝあり。然も世界戰爭の形勢を現出しつゝありて、一般の觀察に於ては戰爭は昨年よりも多く其絕頂に達したりと見做され、今は既に其峠を越ゑたりと斷ぜられ、急轉直下して、講和說の實現を見る可しとせられたるに、却て米國の參加あり露の革命あり、形勢をして更に一層混亂を重ねしめ、戰局をして紛糾の度を加へしめたるの觀なからず。卽ち未だ平和克復の機十分に熟せざるものと見るの外なきが如し。行く可き處まで行かしめず、姑息なる手段に依りて不徹底なる講和を成立せしむるが如きは、禍根を將來に貽すものにして、又實に聯合國過去三個年の奮戰苦鬪を全く徒勞に歸せしむるものと云はざるを得ず。吾人は世界平和の一日も速ならんことを欲すと雖も、姑息なる平和を欲せず且つ同時に聯合國過去三個年の奮戰苦鬪は姑息なる平和を購ふべく餘りに高價なりと信ずるものなり。然りと雖も奮戰苦鬪既に滿三個年に垂んとして、未だ勝敗の決を見るに至らず、講和の機熟せずと云ふは敵ながらも同盟國側必死の奮鬪が能く聯合國側と對峙して勢相較するものあるに歸せずばあらず。數日來の歐米電報は獨逸宰相ベートマン、ホルウエッヒ氏が輿論の攻擊に會ひて遂に辭職したりと報じ、悲しきはカイゼルの讓位を傳へたり。宰相の辭職は事實なるも、カイゼルの讓位は未だ遽に信ず可らず。機を見るに敏なるカイゼルは恐らく民論に對する態度を誤らざる可く、且つ本年は獨逸國內の豐作を傳ふるありて厄介なる食糧問題の如きも大事無きが如し。固より或は民論に從ひ無賠償非併合の講和を聲明するに至るやも知る可らずと雖も直接戰鬪力に大影響あるべしとは信ずる能はず。乃ち現勢を大觀するに交戰諸國が僅に其一二の例外を除き、皆文字通りなる軍國的擧國一致を以て戰爭に從事しつゝあるは事實なり。卽ち聯合國側に在りては平和の攪亂者を膺懲し、世界平和の再現を早からしめ、以て開戰一切の目的を達せんには、軍事は固より總ての[illegible]戰に於て敵國を屈伏せしむるに[illegible]りといふに一兵し、凡そ智力勞力金力を擧げて此目的の遂行に投じ、敵國又全力を傾注して應戰力たるの狀にあり。

近次戰爭が戰期の延長し、戰局の擴大し而して戰鬪の激烈を加ふるに從ひ、交戰諸國々民の戰爭に對する國家的觀念愈々濃厚と爲り、徹底的と爲りたるは爭はれざる事實なり。交戰國々民にして今猶ほ非戰論を唱道しつゝあるもの無きに非ず。然れども其大多數者は聲を潛めて大勢に從ひ、却つて當年の過激なる非戰論者が祖國の爲めに矛を執つて軍に從ひつゝあるが如きは以て其一斑を窺ふ可し。最近獨逸に在りては祖國補助勤務法の發布あり。英國又同性質の國民勞役法を制定し、佛國も亦之に對應せんとして現に討議中に在りと報ぜらる。或は徵兵令を布き、工業動員を實施し、經濟產業貿易食糧交通運輸通信の軍國的統一を策し、或は國民敎育に軍事的豫備敎育を課し、或は婦人少年の獻身報國的活動を獎勵し、汲々として唯足らざるを憂ふるもの、如し。如此は國民の一致協力に待つに非ざれば、單り當局官憲のみの力を以てして能く實効を收め得べきに非ず。個人の利益、個人の自由が往々にして國家的利害の前に一步を占めつゝありたるが如き歐洲諸國に於て今日此事あるを見る吾人は彼等交戰諸國々民の一生懸命なる態度に對して敬意の念禁ずる能はざるものあり。

從つて吾人の忘る可らざるは我國も亦交戰國中の一國なる事なり。交戰國とは一半の意味に於て危險分配の一株を保有するの謂なりと解す可し。勿論先覺の士の我國の前途にも危機の伏在を免れずと爲して憂ふる無きに非ず、又政治家の軍國的擧國一致の急務なることを論ずる無きに非ず。然れども果して我國民は眞に危機の那邊に在るかを自覺しつゝありや、將た明に軍國的擧國一致の急務を認識しつゝありや。靜に顧みて深慮なき能はずと雖も、要は議論に存せずして實効に在り。吾人は今日目前に現戰爭より學ぶべき多くを有つ。以下項を追ひ歐洲交戰諸國に於ける陸軍を主とした軍國的施設の半面を論述し共に與に學ぶ所あらんと欲す

東京より 支那の政局 一記者

▲支那復辟運動の張本人たる、張勳氏其兵を解いて自ら屈し、段祺瑞氏北京に在りて新政府を組織す、乃ち支那最近の政變は、此に一段落を告げたりと云ふを得べし、然れども、是れ只一段落といふのみ、之れより後、更に新たなる混雜を來たすとなきを保せず。

▲頃者、段祺瑞氏の新內閣成ると同時に、大總統黎元洪氏、副總統馮國璋氏、共に其職を辭せむとす、顧ふに黎氏は宜て、突如段總理を罷免して、大英斷の名を博し、却て自ら困厄に陷りたるの人たり、今日段內閣成る、黎氏覗然として、總統の地位に立つ能はざるや勿論なり、而して馮氏は、黎總統其職を見ざるの故を以て、代りて總統の事を行ふものなりと雖も、馮氏は段氏と相善からざるのみならず、他に政敵多き爲めに其職に安ずる能はず、然れども黎段二氏、其職を去るときは、則ち政局に一大難問題を惹起し來らざるべからずして、支那の事端、或はこれより益々滋からずか。

▲今日支那の形勢を說くものは、直ちに南北の分立すべきを云ふが如くなれども、南方勢力なるものは、近年委靡を極め、北方及び中央部に對抗すべき實力を有せず、最近の事實に就て之を見るも、南方勢力を代表する所の、黎元洪氏難局に陷るも、南人之を救ふを爲さず、張勳氏の復辟運動を破却したるものは、曩者黎總統の爲めに罷免せられたる段祺瑞氏なり、其事に與かるところの徐世昌馮國璋の諸氏、亦南方民黨と相容れざるのみならず、其實て復辟論に和同したる形跡より推すも、其用處を知るを得べく、之を約言すれば、此度の政變に際して、南人は其一指だも染め得ずして已みたりと云ふを妨げざるなり、南人既に政局より遠かる、而して猶ほ能く支那を二分して其一を保ち、自ら獨立を唱ふることを得るや否やは疑問なり。

▲然りと雖も、支那の政治界に強大なる實勢力を缺くや久しく、張勳氏の如きは其金力兵力、共に强大無比なりと稱せられたるに拘はらず、其事を擧ぐるに及びて、其の爲す所は兒童の戲れと異なるとなし、北京を喪ひ其兵を散じ、彼自身は和蘭公使館に投じて、僅かに其殘軀を保つといふに過ぎず、張勳氏既に然り、況や他の張氏にも若かざるものに於てをや。

▲支那人の古諺、其機偉にして其辭大なるも、其力これに適はざるものを指して、『臨江之藥』と爲す、今日の支那政治界の諸勢力たるもの、誰か臨江の藥たらざる、南人固より無能無力なり、然れども他に之に向ふるの强大勢力なき以上は、獨立賛南廣諸人民にして、自ら獨立を唱へ、抗爭の形を示すも、復た能く之を壓迫するものなかるべきや言を待たず。

▲且此度段氏の政府成り、張氏の復辟運動は全く失敗に歸したりと云ふも、支那に於ける復辟運動はこれにて全く消滅せりと云ふべからず、段氏自身は是れまで、共和擁護の爲めに努めたるの人なりと雖も、其事を共にするの人々の中に、復辟論者寡からずして、今後政局我同轉を爲すの間、又々復辟を圖るものなきを保せず。

誰（たれ） (18) 布施生譯

鈴富は默つて忍耐してゐたが、最後の一言には流石に顏の血の氣を漲らせた、老人はそれにも頓着なく叫り續けて『それまた貴樣の部屋には天鵞絨張で白鳥の胸毛のついた上靴があるのう、已はもう消魂てしまつた、あんな物をどし〱贅澤す女共を抱へておくやうな贅澤ではのう、贅澤の身の結局は盜賊ぢや、そんな奴に誰が大切な銀行の金庫の鍵をお預けなさるものか、保部樣の御宅から逐出されたのも尤な話ぢやわい』老人は無中になつて叱し立てたが、不圖氣がつくと昌は何か熟と考へ込んで老人の繰言は聞いてゐそうも無かつた、それを見ると老人は俄に言を改め『いや今日は小言を云ひに來たのぢや無かつた、出來る事なら家名の汚を濯ぎたいと思つて態々出てきた次第ぢやつた、昌、盜んだ金の使殘りは幾何ある』昌は當惑しながら『先刻からも申す通り實際私は存じません』さう云ふだらうと思つたこれ、貴樣の答は家族で候ふんぢや『ね』『貴樣の妹婿がのう、あれは貴樣と違つて律氣者ぢや、貴樣の一件が噂に立つと、直に妹の持參金のまだ手がつかない奴を悉皆其儘用達てくれたのぢや、已も貧乏八置いて工面して此邊に三萬圓だけ持てきてゐるわい。兎も角之を保部樣にお詫して返すのぢや』『飛んでもない事です、盜もしない金を』『いや何が何でも已は今日のうちに之を返してしまふ』昌は涙をかくれなくなつて『いけません』と思はず怒鳴つた、そんな事をなさるのは餘計な事です、私に對する侮辱です、貴方は私の言ふ事を信じて下さらないのは御隨意です、しかし何だつてそんな餘計な事をなさるのです』『已は如此するのを己の義務と信じるのだ』『義務なんかありません、餘計の仕事です、私が自分の明を立てやうと骨折つてゐるのに貴方は却つて明が立たないやうになさるのです』『でも、』と老人は首を振つて、何から何まで貴樣が盜たとしか見えないぞ、『昌はもう耐まらなく憤れながら『父樣、貴方は何も御承知がないのです、私は據ない事で保部樣と疎々しくなけりやならなくなつたんです、そして其室の飾り品行を亂したんです、保部樣を忘れやう〱と思つても忘れられないんです、それだから、と言懸けて胸が塞つたやうに暫時は言も續かなかつたが俄に猛然として『よし仕方がない、到底明りは立たん、無實の罪でも立派に處刑を受けませう、其代り出たが最後、私をこんな目に遭はした奴を一生尋ね廻つて讐を討つんだ、何でも今度の惡計は保部樣の家にあるやうだ、家から捜してかゝる事だ』老人は一喝した『馬鹿、保部樣を怨む事があるか』『怨みます、第一保部樣が私と俄に疎々しくなつたのは合點がいかない、あの位私を―』此時丁度面會時間が切れたので、鈴富老人は對話半も頓着なく呼立てられて出て往つた、出る時はもう老人の氣も折れたか、最初とは大違ひに萎々として加之に涙含でゐた、丁度其時昌も檢事に召喚されてもう一度取調を受ける事になつた

□藥柳會 ‖第一回十句集‖

出句者五人○合數女八点○ゑい子七點○とも子五點○しか子三點○きし子一點○得點句左の如し

山の如き夏雲湧く丘の日傘　ゑい子
姉妹かざし連れたる日傘哉　しか子
日傘肩に風を未陸立ち惜む　合歡女
烈日の野へ藪を出る日傘哉　同
留晴てみ之を日傘さゝで行　同

□五選十句集第○第三回課十句 七月三十日締切○但別鮮在住の婦人にして其現在出句者の紹介ある方に限る 京城府西大門內宮舍 [illegible] 研究所

本紙定價 一部金二錢五厘一ヶ月金五十五錢郵稅一ヶ月金拾五錢 [illegible]
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直三　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

▲廿日後場 大阪正 [illegible] 共未著に [illegible] 中十九圓七十一錢 先二十圓〇 [illegible] 付たるも買羅部にて十一錢と [illegible] 兵庫後 [illegible] 二十三圓三十九錢 [illegible] 大阪二十三圓八十六錢の [illegible]

[illegible] す薄弱内の内に十一錢と跳れ〇九錢と [illegible] 折拂大曲の跡高を受けて㋑其他より買物現はれ十五錢と上伸せしが戻りは㊀田其他より賣物多く無碍にも伸びず十五錢と歐合を告げたり市況は前場大阪の暴落を受けたるも存外下げ澁りたるが後場大阪の [illegible] を受けたる [illegible] 伸び悩み

▲下げ澁り反動 [illegible]

▲二十日の九月限

中元景品附大賣出し抽籤番號發表

―景品番號はイ號よりホ號迄の各組に共通す―

先般來中元景品附賣出開始中は江湖各位の深厚なる御後援により空前の盛況を呈し豫期以上の好果を以て昨二十日弊社京城總販賣店に於て警官新聞記者立會の上公明なる抽籤の結果左記の通り當籤致候間此段及廣告候也

◎賣出區域京城の分◎

▲一等 五本 白米一石宛 （一本も空籤なし）
三、四六二

▲二等 十五本（夏向毛メリヤス上下一組宛）
四〇二一　二五四三　四五一三

▲三等 百本（朝日一盒宛）
一八四　二四六　八七〇　二〇九八　二三二七　三二七八
三二九五　四一九七　四六二七　四七七七　五三四六　六一九二
六六〇七　六六四四　六六九七　六六九八　七五一一　七五一八
七六四二　八〇四三

▲四等 二三八五本（敷島一包宛）

▲五等 七千五百本（ワンダー又は千圓一包宛）

[illegible]

（以下六號）

◎景品引換期間 七月二十一日ヨリ七月三十日マデ

◎景品引換場所 明治町二丁目 東亞煙草株式會社總販賣所

○驅逐艦六隻建造命令

海軍省にては今期議會に豫算通過せる桃級驅逐艦六隻の建造命令を呉、横須賀、舞鶴、佐世保の各海軍工廠に發したるが孰れも來年三月竣工すべし（東京特電）

▲四百萬元交附別報

段內閣は當面の財政に窮し四國銀行團に交渉して十八日四百萬元の交附を受けたり（北京特電）

▲清室優待費減額か

段祺瑞氏より各省督軍に向け清室優待條件廢止の件に就き意見を求めたるに對し多數は全然廢止せず四百萬元の優待費は減額すべしとの議論を有し又皇城移轉、帝號廢止には孰れも異議なしと（北京特電）

▲對獨宣戰非公式通告

外交部は對獨宣戰を非公式に聯合各國公使に通告し目下宣戰及び獨逸人驅逐方法に就き各國公使と協議を進め居れり尚今後獨人は最も嚴重に處分し領事は悉く退去せしめ獨逸銀行のコバデス及び天津のハンネッケンも退去せしむべしと（北京特電）

○獨墺軍東部戰線兵力

六月より下旬七月上旬に於ける獨墺軍東部戰線方面の兵力は步兵百三十一箇師團騎兵二十二箇師團にして其編成は開戰當初には四箇聯隊を以て一箇師團を編成せしものなるが近時に在りては三箇聯隊を以て一箇師團を編成しつゝあるもの如し（露都露報）

○追加豫算法律公布

今期議會の協贊を經たる左記追加豫算及び法律廿日官報を以て公布されたり（東京特電）

一、大正六年度歳入歳出總豫算追加の件
一、大正六年度各特別會計歳入歳出豫算追加の件
一、臨時軍事費豫算追加の件
一、軍事救護法
一、銃砲火藥類取締法中改正法律
一、東京帝國大學、京都帝國大學臨時政府支出金に關する法律
一、學校圖書館特別會計資金の一部を一般會計に繰り入るゝ法律

◎京奉線徒步連絡

京奉鐵道石山站大陸河間約九哩は水害のため十七日より列車不通となりたるが其の後新民府白旗舖間又々不通となり此の區間は幸にして十九日に至り復舊したるが石山站大陸河間は線路被害甚だしく且大陸河鐵橋破損のため開通迄に尚數日を要す可く之が應急策として徒步連絡によりて取扱ふことゝなれり

◎支那の電報局

支那に於ける通信機關の狀況に就き或る筋の調査を聞くに郵便局數は約六千七百あり各省中の主なる人家集團地に設けられ居れど電報局は電線機械等に多額の費用を要するため其數寥々たるものにて最近の總數七百三十九に過ぎず吾が朝鮮に比し支那の大を以てして約百箇所の多數に過ぎず支那に於ける通信機關の整備は同國の統治開發上頗る必要のものにて又急務なるべしと其の各省別左の如し

省名	局數	省名	局數
盛京省	三九	湖南省	三四
吉林省	二三	江西省	二四
黑龍江省	二〇	安徽省	二三
直隸省	六八	江蘇省	五三
河南省	三一	浙江省	三五
山東省	五四	福建省	二〇
山西省	一九	廣東省	六七
陝西省	一〇	廣西省	五一
甘肅省	一八	雲南省	三六
新疆省	一八	蒙古	五
四川省	三六	西藏	二
貴州省	一五	合計	七三九
湖北省	三八		

◎京畿麥旱害程度

京畿道管內に於て昨年十二月下旬より本年五月下旬に至る寒害及び旱害は其被害管內一圓に亘り各種農作物に多少の影響を齎せしが就中大麥小麥の被害程度最も甚大にして屢々報道せし如く幾多の減收を見るは爭はれざる處なるが當局の調査に由れば大麥の被害面積は四萬一千百三十二町五反步小麥の被害面積一萬一千八百三十四町六反步に達し此の被害見積金額大麥九十三萬九千四百六十二圓小麥二十八萬八千四百八十六圓に上れりと而して之に對する處置として當局は收穫の見込なき地には地味の狀況に應じ馬鈴薯、菜豆、白菜、菠薐菜、夏大根、胡瓜、甜瓜等の食用作物にして秋蒔作物に影響なきものを栽培せしめ若くは大小豆粟陸稻の適期播種をなす樣善後策を講じたりと

◎學校組合會議
服制問題は議員建議の權限に疑義あり

既報の如く京城學校組合會議は二十日午後三時より組合會議場に於て開會議案第一號組合費戸別割減免に關する件同第二號建物賣却に關する件同第三號大正六年度京城學校組合歳入出豫算中更正及追加の件及び前會議より懸案となれる中學校增設問題學校敎員服制改正問題を審議する所あり此日出席議員十七名缺席議員一名、金谷府尹先づ開會を宣し挨拶あり其れより

▲日程に入る　第一號議案組合費減免に關する件は議事に入るに先ち北村事務官本件に關し說明する所ありこれに依れば本年度減免願提出者中減免の必要無しと認められたるもの二十三名諸種の事情氷解と同時に既に提出願書撤回したるもの七十六名にして減免額四百七十圓之に對し議員の質問あり高山議員委員附託を主張するや滿場異議なく委員投票の結果深水、大村、田中、高山、大垣の五氏之に當選し結局議案一號は委員附託となる

▲第二號議案　建物賣却の件は從來學校組合財産たりし元舊坡病院は其後之れが利用の途なく廢頽腐朽を極め居りしが今回京城佛敎慈濟會より行路病人收容所建築用として右建物賣却方願出たるに依り之を價格五十圓にて賣却せんと言ふに在り管理者側石原事務官一應之が說明を試みしが結局讀會を省略し滿場異議なく原案通り可決、議案第三號豫算更正及び追加の件は要するに本件は歳出經常部に於ける豫備費中

▲七百圓を減じて之を學校衛生費中に繰入る事及び歳入經常部雜收入に百圓を同臨時部に於て六百五十圓（補助金に六百圓、財産賣却五十圓）を歳出經常部に於て七百五十圓（小學校費六百圓、基本財産造成費百五十圓）を夫々追加する事にて、石原事務官之が說明を爲し三議員の質問あり結局讀會省略、滿場一致を以つて原案通り即決。右終つて前回よりの懸案の一たる中學校增設に關する件を討議す本案の提出者田中半四郎氏起つて之を說明し

▲小學卒業者　の全道に於ける分布狀況中學入學希望者の現況等を計數的に表示して其の必要急務を叫ぶ之が促進實行の方法等に就き二三議員の提案あり結句滿場異議なく當局に之が請願を爲す事に決定時に五時、約十分休憩の後再び議事に入り建議案の二敎員服制改正に關する件を討議す之より先き管理者側金谷府尹本件は建議案として其筋に提出する事は法規の解釋上穩當を缺く所あり出來難し本件敎員服制問題は勅令事項に屬し一般官吏に對する

▲服制と同一　議員建議の權限範圍たる組合會の公益に直接關係ある事項とは認め難き事猶內地市町村會に於ける「市町村會は市町村の公益に關する事件に付當局に意見を提出する事を得」たる法規の解釋例に見るが如し法の支配を受くる事は已むを得ざる事項にして之を建議案として議する事能はず寧ろ諸君の希望として其筋に開陳せられん事を希望す……云々と述ぶるや提出者深水議員は本案に關しては唯形式の如何に拘はらず

▲主旨の貫徹　に在り建議案とせずば果して如何なる方法に依りて目的の遂行を圖るや願くは府尹の敎示を乞ふ旨を述べ甲論乙駁組合會の權利議員建議の權限根本問題に觸れ議場騷然敎員の服制問題は依然組合會の公益に關係せず同中學增設問題と同一轍なりと論ずるものあり、討議中一應休憩し各議員側協定成り管理者側との意志漸く疏通し結局本建議案は提出者側より議員建議の權限に疑義あり暫らく本建築は差控ふとの提言に依り漸く段落を告げ午後六時半閉會せり

◎京畿春繭販賣終了

京畿道抱川郡繭共同販賣は豫定の通り七月十八日施行せるが入札參加者多數にして盛況を呈せり落札價格は一石に付き特等百五圓特等別に九十五圓一等九十圓十錢二等八十六圓七十錢三等八十圓三十錢四等七十四圓五十錢にして販賣量五百三十餘石此の賣上金額四萬三千餘圓に達し四等以上の平均價格一石當八十六圓十一錢にして右は品質頗る良好なりし爲め如斯未曾有の高價を見るに至れるなりと而して落札者の主なる者は原田片倉組小口組等にして同日京畿道よりは松永長官小松事務官田中技手等出張實況を視察せるが右を以て京畿道春繭共同販賣は一應結了せり

◎价川輕鐵開通

平南新安州軍隅里間の价川輕便鐵道は過日の水害により線路の被害甚だしく應急修理に努めつゝありしが漸く十九日より開通を見るに至れり

◎軍人後援會現況

帝國軍人後援會朝鮮支部現況を聞くに各道に於ける會員の活動著々として好成績を擧げつゝ今や會員一千名を算せるに至れりといふが試みに五月一日現在調査各道に於ける會員數左の如し

▲京畿道九十五名▲忠淸北道十二名▲忠淸南道二十名▲全羅北道三百二十名▲全羅南道三名▲慶尚北道三名▲慶尚南道百八十七名▲黃海道三名▲平安南道十一名▲平安北道八名▲江原道八名▲咸鏡南道二十五名▲咸鏡北道七名

等にして內有功會員六名特別會員三十六名通常會員百五十名贊助員三百三十八名なりと

◎養鷄普及計畫

全羅南道に於ては鷄種改良副業獎勵の目的を以て本年度より向ふ三箇年間の計畫にて求禮、光陽、順天、高興、長興、海南、務安、羅州、靈光、長城、珍島、濟州等の各郡に適當の飼養管理者を定め既に三十組を配布したるが種鷄は二年以上飼育し其の産卵は一般農家に種卵として配布し之れが普及增殖を圖る事其他を條件としたり各郡への配付鷄數は雄二羽雌六羽にして最初產卵三百個を得之が孵化より大正八年度に於て一郡一萬一千七百二十五羽合計十七萬六千羽の改良鷄を得んとの計畫なり即ち雌鷄一箇年の產卵數を五十個と爲し產卵數の半額を孵雛するものとし之れが半數を雌鷄と見積りたるもの〻由なり

◎哈爾賓財況

哈爾賓前月金融界の狀況を聞くに貨に對し銀行に多少の資金需要あれど輸出方面は資金固定して新資金の需要殆んどなし、又爲替は戰況政情不安定のため露貨下落し中旬稍々恢復せしも月末再び暴落し爲替取引殆んど中止の狀況なり唯輸出品は昨年より漸次浦鹽への積出し行はれ六月中に約二萬噸は運搬せしなるべし輸入品は南滿線の輸送稍確實なるが故に支那方面商品は滯貨少なきも露國行き商品はシベリア線運搬力なく哈爾賓にも停滯し居れりと

◎古海總長催宴

警務總長古海中將は二十日午後七時喜久家に於て饗宴を開き同日午後五時元山より入京の工兵監近野少將を招待し立花師團長、岡本參謀長、白水軍參課長、高橋武官、大橋少佐、太田大尉も陪賓として列席せり

◎近野少將入京

工兵監陸軍少將近野鳩三氏は二十日午後五時十分南大門驛著列車にて元山より入京大觀亭に入れり

◎總裁理事歸京

豫て東上中なりし東拓總裁石塚英藏氏同理事松平直平子は二十日午後九時南大門驛著列車にて歸京せり

◎軍參課長檢閱視察

軍參課長白水少將及び軍參謀岡少佐は鎭海重砲兵大隊第二期檢閱視察並に地理實査のため七月二十二日午前八時四十二分龍山驛發馬山及び鎭海へ出張、二十七日歸龍の豫定なり

◎商銀利益分配案

朝鮮商業銀行にては來る廿三日の株主總會に於て左記の利益分配案を附議す可し

金五萬四千二百六十九圓九十二錢　當期利益金
此使途計算如左
金五千五百圓也　缺損補塡積立金
金七千五百圓也　別途積立金
金二千八百圓也　配當平均積立金
金二萬二千二百三十七圓八十七錢七厘　配當金年九分（政府所有株を除く）
金一千一百二十五圓也　賞與金
金一萬五千百七十四圓四十錢五厘　後期繰越金

人事消息

▲木越半一氏（總督府事務官）廿日入京巴城館へ
▲西崎鶴太郎氏（慶南道評議會員）同上

南言北語

支那では軍閥が民黨を壓迫すると復辟が飛び出した▲獨逸では民黨が軍閥を壓迫すると却て軍閥の大將が飛び出した▲張勳は宣統帝を擁して沒落し▲ヒンデンブルグや皇太子は獨帝を擁して成功した▲要するに何方も騷ぎから駒が飛び出した觀があるが支那の方は質が惡かつた丈け公使館へ逃げ込んだ▲獨逸の方では手頃のミハエリスを總理の椅子に据ゑて戰勝の夢を見て居る▲事程左樣に見物には獨逸の方が面白い▲榮枯盛衰は人事の常况だが亂世に於ては殊に免れ難い▲這はデへ繪中の張勳轉落魄の黎元洪君兩者立脚の地を異にするも其終りに至りては一齊し▲又た一齊ありと云ひたい▲大に此の轍を踏む者は誰れぞイヤ陰呑氣な桑原々々▲成都の戰亂も百姓一揆ぢやなくて存外大きいらしい▲歷史の多い此の蜀都を彼等が滅茶苦茶にするのは遺憾だが▲其れよりも領事館の穴倉に逃げ込んで居る同胞を早く救つてやらねばなるまい▲歐洲戰爭では隨分大架裝な兵器が續々現はれて居るらしいが▲白耳義方面の英軍は大仕掛の地雷爆發を行つた▲其の爆音は百數十哩を隔てた倫敦に迄震動を與へた相な▲首相ロイド、ジョーヂ君の如き爆發の當夜邸宅で今か〳〵と耳を欹て待つて居たと▲後藤內相は憲政會提出の彈劾決議案を一蹴し去つて官邸に引揚げた時▲當夜訪客の白扇に錄して曰く▲『是非海裏猫身入、豺虎群中自在行、抱是非來無我、平生寥寥不相識』

牧の島で出來る硬質陶器
◆百萬圓の資本で大規模に創始する計畫
佐々木慶南第一部長談

佐々木慶南第一部長を釜尾旅館に訪ふ「慶南の誇りとする所を物語れと註文は、甚だ困つた問題であるが然らば遠慮なく申上げよう、普通牧の島と云はるゝ絶影島に極めて面白い企業があるから其れなりと土產話に語りて進せよう」と口を切り扨て曰く「之は京都で出來る硬質陶磁器を牧の島で製造するので、總て有名な松風嘉定氏で出資者は內地知名の資本家多數を網羅し資本金一百萬圓で始め樣と云ふのである。既に

▲朝鮮の陶土　で拵へ上げやうと云ふ事業である、主唱は京都の朝鮮の土を使ふからには勢ひ職工も鮮人でなければならぬ、依つて差當り朝鮮人職工一千五百人を養成して大規模に此の事業を創始する計畫であるが、目下既に出願中であるから追て許可になる事であらう、是等は民間起業界の新しき福音である」と云て道の施設方針の方を逃げやうとする佐々木一部長の人の惡さに記者は猶も固くし『それでは御話が違ふ』と突込めば『道の施設と云つた所で大した事はない。まア慶南は御案內の通り、水產物の產額が

▲全鮮第一で　あるから、之を更に製作を加へて、支那歐米へ輸出しようといふ計畫を立てた、それは鑵詰も結構であるが、何分鑛力の乏しい時であるから、寧ろ當分の內鹽漬や燻製にして輸出したいと思つて居る。是れは調査中であるが、果して有望であるといふ確信がついたなれば、適當の製造家を選擇して夫れに遣らせる考へである。此の外內地向きではあるが煎子、鯣節抔も强ち支那歐米へ出して必ずしも不向きではなからうと思ふ。それから極切つたことではあるが、例年五六月頃端境季になると米が無くなつて麥も出ないといふので中流以下の鮮人は食ふや食はずで居るのが例である是れは如何に考へても愚かなことであるから、道に於ては夙に山間地方を初め一般の荒蕪地に甘藷や馬鈴薯を作らせる事にした。此の風が近頃盛んになつたので、お影で本年は餓死するものもなくたつた樣だが、只困ることは昨年水害の結果、水田の被害が多かつたので

▲貧民が殖えた　事である。殊に昨年洛東江の氾濫した爲めに其の被害は尠からざる額に達してゐる。米は人口の劇增に伴つて地場で費消さるゝ額が百四十萬石乃至百六十萬石に達する、尤も不引合だと云つても移輸出は本年五十萬石、他道から仲繼移輸出額約八十萬石に達してゐる。蠶の方は第一桑を植ゑる素地にも乏しいから餘り奬勵するのは考へものであらう」

◎露軍前途有利
（[illegible]）

▲戰意を恢復し　最近其一部はガリシア方面に於て攻擊を開始せし露軍總攻擊は六月二十九日行動[illegible]キロメートル正面に步兵攻擊を開始し奮鬪力戰の後一萬人の捕虜を得翌二日には全軍の總攻擊を續行し爾後[illegible]露軍の氣勢漸く振はず七月八日に到りブルーゼザニ北方の正面にて復興したる攻擊は多大の損害にて擊退せ[illegible]はルクワ河岸に達し捕虜七千砲四十八門を獲たり又最近の報によれば十日頃にはハリッヒを陷落せりと傳へ[illegible]攻擊が今後如何に發展すべきか猝に逆睹し難しと雖も獨軍は既に早くも露軍の總攻擊を察知せるに依り國內[illegible]べく尙且つ一旦危險に陷りたる露軍の戰線は蘇生し

▲守攻其位置を轉換して攻[illegible]結心を固くし頽勢を挽回すべき措置を講ずるに腐心し現に陸海軍大臣ケレンスキー氏の如きは身を挺して[illegible]り殊に社會黨の大部分並一般國民の復活せる元氣に共鳴して戰線の移結を速かならしむる爲め國民の[illegible]

尾竹竹坡畫伯作品頒布會

東洋美術協會創立十週年及東京奠都五十年記念事業として我邦丹青界の巨擘たる竹坡畫伯の新作品頒布會を開催す入會希望者は郵券三錢を送付せば作畫寫眞五十餘種を收めたるアート紙刷五十頁の本會特輯號を無代贈呈す◯前金不要◯畫題指定◯會費低廉◯入念密畫◯送料不要◯共箱無代品◎等の諸特典あり

名譽總裁　一條公爵
東京南千住町九四　東洋美術協會

顧問　高島平三郎先生

コドモ　八月號
幼年雜誌　良友

學校に家庭に最も信用のある一番的教育的雜誌
一冊十二錢　六冊六十六錢　十二冊一圓二十五錢　郵稅一冊五厘
東京小石川林町　コドモ社　電話小石川六一八　振替東京二七九六三
小學程度の讀物として最も適切
長崎書店になくば本社へ申込みあれ

陸軍御用酒
京城蓬萊町
發賣元　三巴酒造株式會社　電話長一〇六七番　振替口座六一八番
大田出張所　電話長一三五番
平壤出張所　電話長五一一番
特約販賣所は鮮滿樞要の地にあり

肩の凝らぬ銷夏第一の讀物
講談雜誌

■安兵衛の道場荒し（三十頁）「殿士岳々傳」一齣講談……桃川如燕
端居（大判十日）
夏ごろ（落語）……柳家つばめ
天明白浪　笠見の重兵衛……典山
吉野大夫　怪しの獅子屋……島田兵庫
お福猫……靜亭左樂
おオ東浦　潤墨文政譚……久保田幹夫
■阿波義婦傳（二十頁）珍らしき怪談もの……柴田馨
山縣大貳……大島伯鶴
池內三太郎　旗下取立……大久保龍城
魔風（落語）……翁家さん馬
雜錄　演藝三方鹿釋棒……森曉紅　出來立講談師を聽く……富田生　關西寄席めぐり……信一　小さんの顏と表情……舟二郎
■雨中の駕籠（二十頁）「奧州婢白浪」續講……悟道軒圓玉
八月號　定價二十錢　郵稅一錢
東京本町　博文館　振替二〇四二番

資本金參百萬圓
明治三十八年創立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱中候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
電話　二六四六番　二三九番　振替京城一八　二六二〇五
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

浮石鹼專門
Ⓗ 大和石鹼製造所
京城漢江通七番地　電話四一三番　振替京城二九〇五番

……ありし露國軍は軍事及び政治の當局者及び國内有識者の熱烈なる誘掖指導により漸次……

を起しブロディ、オルゼザ附近及びドニエステル河に亙る間に於て猛烈なる戰鬪をなし七月一日（露暦六月十八日）ブルゼザニ附近に於て約卅門機關銃三十二門に達せるも獨逸軍の增援隊漸次到著し優勢となり

▲彼攻擊正面に 兵力集中し……テル河右岸地方スタニスラウ西方に於てひたる攻擊は正面十二キロメートルの塹壕陣地を全く突破し騎兵……

▲突擊する時は 或は再びレンベルグを奪取するに至らん乎、某軍事通の觀察する所に據れば以上の……部戰場より移動せしめたる兵力を共に露東部戰場に守備し得べければ英佛聯合軍側戰線は非常に有利となる……めのみならず聯合與國軍全體の至福たらずんばあらず露國官憲も亦此の好機を逸せず國民の志氣を鼓舞し國民の各階級各政黨政派は擧つて此の偉なる

▲大捷に狂喜し 歡呼し居れ

◎近野工兵監通過 近野工兵監は二十日元山通過京城に向へり（元山特電）

◎二十年振りで朝鮮へ

◇◇會寧工兵隊の檢閲を終へて◇◇

工兵監陸軍少將 近野鳩三氏談

工兵監陸軍少將近野鳩三氏は會寧工兵隊檢閲の歸途廿日午後五時十分南大門驛著入京大觀亭に入りたり少將の談に曰く

會寧は冬は寒く夏は非常に暑い處と聞いて居つたが予の巡視中は大變に涼しかつた清津會寧間の鐵道も

◎八月中には開通 する事に成つて居るといふ事だ該線の開通は將來吉會線の完成を以て始めて意義を爲すものであつて會寧そのものだけでは鐵道としても効果が少いであらう尤も豆滿江上流地方の深林と鐵山の利は大いしたものらしい會寧附近には石炭が豐富にあるが炭質は餘り良くないらしい豆滿江は鴨綠江と共に滿鮮境を貫流する大河である事に誰でも知つて居るが實際見ると其れ程大きな河流ではない

◎會寧邊では河幅 が五十間位で水も淺く徒涉し得る位であるから漢江などよりもずつと狹い勿論洪水の際には大いに增水するし又江口になると大江の趣があるに相違ない樹林廠の筏は出水を俟つて流下して居る會寧の對岸は間島であるが此の邊は兩岸の風物が全く同一で何處までも赤い禿山が續いて居るから對岸を望んでも之れが國境だと云ふやうな強い感じは爲ない併しながら一度び間島に渡つて豆滿江の氾濫區域を過ぐると實に沃野遠く連らなつて

◎其の肥沃の地味 は到底會寧附近の砂地質と同日の談でないといふ事だ會寧地方は前にも云つた如く大變に涼しかつたが殊に茂山嶺の隧道を通過した時は氷室中を通るやうで非常に愉快であつたあの邊はまだ建築列車を運轉して居るばかりで便乘する者は無蓋のトロに乘るのであるが予の歸途の際恰度秋山軍司令官も巡視の途中で此の隧道を通られたので鐵道の方で

◎無蓋車に天幕 張つて呉れたその上機關車が後の方から押して隧道を通つたから非常に快よく涼しく恰度氷室の中を驅走する如うであつた茂山嶺には隧道が七箇所あつて其内の二箇所は各三千五百尺以上あつて其れが直線の隧道であるから背後から機關車に押させて隧道の中に這入ると出口の方が丁度月の如う

◎遠くに圓く見ゆ 思ひ掛ない納涼と爲て甚だ愉快であつた京城には二十餘年前臨時電信監部として居つた事があつたが其後は今度初めて見るのだから隨分變つて居るであらうと思はれる

◆兩殿下御見學 淳宮、高松宮兩殿下には二十日午前八時三十分三好傅育官長以下を隨へさせられ新宿驛御發車山梨、長野、新潟各縣下御見學の途に上らせられたり（東京特電）

水あそび

◎拳銃で爭鬪

哈爾賓の椿事

去十六日午後十時五十分頃哈爾賓プテソヤ街とモストツヤ街との交叉點なる曖昧屋附近にて拳銃を發射して

▲大格鬪の末 重輕傷者四名を出したる椿事あり同夜一名の露國陸軍將校が娼家にて遊興中偶々頃日到著したる浦鹽の海軍水兵數名も來合はせて素見しゐたるに僅かの事より口論を初め士官は一名なる爲め早くも暴行を受けんとする危險の狀態に陷りたるより携へゐたる拳銃を件の水兵の面前に擬して威嚇したるに狂暴なる水兵等は突然打て蒐りしにぞ士官も引金を外して發射したるに一名の水兵に命中し他の者は慌てゝ

▲戸外に脱走 したるも再度復讎せんと大騷動中急報に接し警官隊及び民兵等駈付け鎭壓せんとしたるに狂ひ出したる水兵の一隊は却て激しく抵抗し茲に民兵の一團も鎭靜手段として一發の拳銃を發射したる際、日本遊廓を素見しゐたる露兵の一組が横合より飛び込みて彌次り出し火の手は益々擴大され爲めに遊廓附近一帶は時ならぬ一大修羅場と化し互に

▲格鬪の結果 先きの士官及び陸軍兵一名水兵二名合計四名は顏面背部等に何れも貫通銃創の重輕傷を負ひ血塗れとなりて路上に打倒れ一名の水兵は九州館に逃げ込みて辛くも無事なるを得たるが負傷者は間もなく現場に出張し來れる兵士委員會の救護班に依り全部は露國病院に收容されたり（哈爾賓）

◎無賴漢學校敎室に闖入す

鴨綠江上流通化在住の鮮人等が其の子弟敎育の爲め設立せる同地進明學校は平安北道寧邊郡より金正憲を敎師として招聘し普通學校日語讀本を敎科書に使用して良好の成績を擧げ來れるが最近不逞なる鮮人の一團敎室に闖入し來り金敎師に對し惡口雜言到らざるなく加之不埒にも生徒の日語讀本全部を破棄亂暴狼籍を極めたるより金敎師は斯くの如き侮辱を與へられたる以上最早一日も其職に留まるを得ずとて遂に退職するに至れるが同地鮮人組合員一同は非常に憤慨し善後策に就き協議中なり（安東縣）

◎侯爵家の大金を竊取した雇人捕はる

京城新橋洞生れ金鎭獸（五〇）は明治四十一年以降桂洞侯爵李載覺氏方に雇はれ中四十五年舊二月十一日頃侯爵家にて恩賜公債十六萬八千圓に對する利子金四千二百圓を朝鮮銀行より受取り格納中鎭獸は常に合鍵を預かりゐたるを奇貨とし同年舊二月十五日夜金庫を開きて內金二千五百圓を竊取して逃走したるより爾來嚴探中なりしが件の金員は疾くに浪費して此の頃舞ひ戻り市内を徘徊中鍾路署の手に逮捕され目下取調べ中

◎元私立學校長の詐欺

慶北慶州郡邑內生れ京城水下町居住元私立徽文義塾校長なりし朴重華（四〇）は大正四年舊二月以降萬病に奇効を奏する壯健丸の調劑を發明したるも其の材料購入資金なきを以て之れが出資者はなきかと富豪の子弟を物色中同年五月慶北慶州府內面城東里孫秀文（二二）が修學の爲め資金四百圓を携へ入京中を探知し例の壯健丸を種に同人を欺きて三百圓を捲上げ其後同様手段にて外二名の學生より各百圓宛を騙取したる一件は此程京城地方法院にて懲役十箇月の判決となりしを不服として同覆審法院に控訴せり

◎盛なりし正遷宮式

廣州郡松坡の賑はひ

既報の如く京畿道廣州郡松坡の東拓移民村を中心とせる松坡附近三面の共同奉祀に成る松坡神社の神璽は豫て京城神社內に奉安しありし所去る十八日正遷宮式を執行ふにつき谷村神官外一名の神官右神璽を捧持し同日朝松坡に向ひたるが是より先き松坡の重なる官民及び普通學校生徒は漢江の河岸まで出迎へ著後小憩の後ち午後一時より嚴肅なる遷宮式を行ひ終つて宴を開き夜に入りては煙花其他種々の餘興ありたり此の日は恰かも松坡の市にて殊に晴天なりしを以て近村より來集せる鮮人約六千人以上に達し同地未曾有の殷賑を呈したり（松坡特信）

◆竊盜犯人赤痢に罹る

元山警察署の大消毒

元山警察署にては十九日夕刻竊盜犯人を逮捕し署內留置室に入れしや下痢を催したるを以て診察せし處赤痢病と判明せし爲め警察署にては大に狼狽し直ちに大消毒に著手せり（元山特電）

◎小學生徒水泳練習

京城學校組合七小學校生徒の內約五百名は八月六日より二十五日迄西氷庫にて水泳練習會を開く由

◎總監部擊劍指導會

警務總監部の武術會にては二十一日及び來る廿八日八月四日の三日間に亙り午前八時より二時間門根大尉の指導にて擊劍講習會を開催す可し

◎清津の天候

二十日土用入の天候は晴天にして氣溫華氏七十八度を示せり（清津特電）

◎早大野球選手

早稻田野球選手一行十七名は十九日午後七時著列車にて來釜同八時三十分出港連絡船さくら丸にて下關に向ひたるが呉を經て歸東の筈（釜山特電）

◎筑前琵琶溫習會

京城旭翠會にては明二十一日（土曜）午後六時より本町寄席に於て第三十八回溫習會を開催し東京旭嶺外數名の賛助あり入場無料下足料金五錢なりと。演奏曲目左の如し 一赤垣源藏（水涯）一壺阪入（水渓）一宮島陸丸（水岳）一大高源吾（水鈴）一義良親王（水月）一茶臼山（水映）一千手の前（水蓮）一靈馬鐘（旭美）一湖水渡（旭輝）一川中島（旭絵）一本能寺（旭彩）一芳流閣（旭玉）一木內宗吾（鹿俊）一屋島（旭舞）一資盛（坪井水）一小松原（按摩 原旭嶺）

一日報俳句會

時日 明日曜日午後一時より
場所 南山本願寺に於て
兼題 『涼』三句宛持參の事
席題 『蟬』十句
會費 金十五錢持參の事
注意 流派を問はず成る可く多數の出席を希望す

えんげい

チャップリン大會 大正館の涼み興行のチャップリン大會は時節柄よき思ひつきにて寫劇の松之助の二代目兒雷也といふ忍術物もあり殊に怪猫騷は館主が特に花月に於いて試寫を催し主なる人々にその眞價を問ひたる物だけあり寫眞は海の場面の多きと實物の怪猫潛航艇が自由に操縱したるがよし

▣伊藤痴遊開演 伊藤痴遊は二十日夜京城座に於て得意の講談をなし二十一日より一週間明治町浪花館に於いて得意の雄辯を振ふ由となれるが、演物は毎日替への筈にて初日は秀吉の出世（旭堂南外）快傑高杉晋作、陸奥伯外數宗光丸、大久保利通の三席（痴遊）なりといふ

▣壽座 新劇座山村龍紀子一座にて二十一日より開演すべし

さわうのさわう

▲今度本社の納涼園の行く海雲臺の海水は其の奇麗な點に於て他に類例が無いと云ふ事だ▲二丁もある地曳網を引いても藻の屑一つ這入つては居らぬ▲その上海岸にはあらゆる珍らしい貝殼が打ちあげて居るから學生など研究する者は元より美しい貝を拾つて樂しまうと云ふ人にも便利至極である▲海は遠淺で沖の方へ三丁位まで水深は腰のあたりまでしかない足で水中の砂を掻くも蛤がコロ〳〵と出てくる▲濱には珍らしい藥草類や此の海岸特有に美しい草花が澤山咲いて居るから之れ又研究に値すべきものである▲山あり瀧あり海水浴場あり溫泉あり古蹟あり之程の場所は朝鮮は元より内地にも滅多に無い

學生の夏休と家庭

◆平素敎はつた事を實地に

◇◇生徒は休み中成るべく勝手向きの手傳ひをしたり裁縫の實習をなさして欲しい◇◇

私立京城女子技藝學校長 井上要二氏

私の學校は高等女學校などより暑中休暇は五日程尠く二十五日から八月三十一日までになつてゐます、休暇中昨年の通り今年も

▽割烹講習會 を開きたいと思つてその敎師も引當てにしておいたのですが、急に病氣に罹つて內地に還る事になりましたので今年は中止する事にしました、寄宿生は十二名あつていづれも歸省する事になつてゐます、その中で最も

▽遠方から來 てゐる者は安東縣でその他春川だの忠州淸州或は鐵道沿線から馬で十里も奧に這入つた黄海道の谷山から來る生徒もあります、今年は外の職員の內でも自分の研究やら學事の視察やらで內地へ行く者があるので外に別に之れぞといふ計畫もありませんが

▽技藝の方に 關する事で生徒の內に難解な問題があれば學校へ來れば判るやうに敎師が詰めてゐる事になつてゐます、私は今年は留守居といふ事になりますから一晩泊りで行かれる位の程度の地方で在學生徒のある所を廻つて見たいと思つて居ります

▽生徒の召集 は休暇中二回程やる事になつては居りますが時日はまだきまつて居りません、本校の性質として生徒は休み中成るべく勝手向きの手傳ひをしたり、裁縫の實習などによつて平素習ひつゝある事を應用して貰ひたいと思つてゐるものですから學科の方には重きは置かぬ事にして居ります、隨がつて

▽宿題を課す といふ事は苦しませるばかりで大した効能も無いと思ひますし又學期開始前になつて多くの答案を見るといふ事は職員の少ない本校の如きでは出來ない事ですから學科宿題は課さずに唯生徒の自學自習に任す事にしてあります

○電信修技生募集 當局電信修技生十五名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス詳細ノ事項ハ七月二十一日以降ノ官報又ハ當局從事員敎習所ニ就キ承合スヘシ但シ郵便照會ハ返信料二錢添附ヲ要ス 大正六年七月二十日 朝鮮總督府鐵道局

代書大博士 ◎第四十四版出來 特價送料共前金壱五錢郵代用一割增 ◎本書は代書業の種となる現行屆書式一切を明かし實地開業の手引まで示してあるから此虎の卷があれば男女年齡を問はず誰れでも日本中隨意の土地で簡易に代書業者となり筆一本で資收入を得る事が出來る本業なり副業なりに早速始められよ法律に制限のない御無試驗で開業一生の出來る今の內に始めておけば一生の株になる ◎各戸に備へておくも年中代書の本職を抱へおくも同樣日用寶鑑無盡藏也 特典 此際講讀者に限り實地事務就職の便を與ふ 東京市本所區役所前 發行所 大日本代書業講習會出版部 振替東京二九六〇一番

紅療法日延と移轉 黄金町若草町電車停留所前新築家屋へ移轉夜間も治療開始す 山下紅療院

京日案內 普通 一回前金五十錢 番外 一回前金（匿名一回分）に拾錢增し ▲申込後中途廢栽中止の節は料金返戻せず ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず ▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

▣免許 土用やいとハリ 一回三十錢 狩野 本町二ノ三（龜屋横入）電一三二六 300

◎製糸に經驗ある內鮮人の女職工募集 京城府芳山町百十二番地 有信製織所 305

◎湯屋讓物あり 御希望の方は左記の場所へ御來談下され度し 京城古市町四十三番地 淸九屋 306

▲見習看護婦入用 南大門通り慶銀裏 電話三〇六五 司生堂醫院 308

◎學資貸費篤志家を求む相當條件に應ず詳細は御照會を乞ふ 高等學校三部三年在學生 住所姓名在社 299

◎商家 調劑藥品試驗等に充分經驗ある藥劑師 病院又は藥舖等に雇はれたし（姓名在社）286

番外

▼古本雜誌古樂器專門買受 絕大の信用誠實の定評 京城本町 電二五二七 ウツボヤ書店 218

▣自轉車月賦販賣に應ず 京城黄金町二丁目角 イバラキ商店 電一九二七 172

店員入用 十八歲以上廿五歲位迄當業心得有者一名 十七歲迄小學卒業者二名 希望者履歷書携帶本人來談 吉野町一ノ九一 米穀雜貨貿易商 中島竹次郎 307

◎通譯書記急募集 英、會話飜譯に堪能の人給料五拾圓以上を支給す履歷書携帶本人乞來談 黄金町二丁目 シンガーミシン會社 309

◎鑛物定量分析 明治町二ノ七六（電話二七七番）本町一丁目江戸川横入 田部分析所 291

鑛物各種分析 太平町二丁目二二六（電話二八三三）遠藤醤油店向側入る 松永分析所 272

◎共樂社遊船部 本社の遊船は料金安價にして新造形船なり 龍山電車終點漢江畔 電話五二八番 140

サッパリしたる花の薫を其盡集めた

オリヂナル

宮內省御買上品 原料香木

涼しいものゝ數ある中で

オリヂナルを一滴づつ使ふ事が一番涼しい夏の樂しみです

■中元暑中の御進物として御用引も切らず

■近來似物あり御注意

東京本舗 安藤井筒堂 代理店大阪 藤森源之助

賣却品（現狀の儘） 一溶鑛爐 徑四尺高十五尺 外各種 一スチームエンジン 十馬力一臺 一吸入瓦斯發動機 八馬力外 一旋盤 七、八、十呎尺 一十噸横置起重機 一臺 一レカルバン 五尺外 一ボールバン 各種 一煙突 徑一尺高二十尺 一個 一工場建坪 約二百坪 其他鑄工鐵工附屬品及諸雜品共總金額約壹萬圓內外 右御入用の方にて現品一覧希望者は七月廿四日迄に左記の所へ御來談を乞ふ 春陽館內 仁川港濱町 橘 實

來る廿二日土用うし 鰻丼 かば燒 例年の通り特別大勉強仕候間御注文の節は電話六八六番へ御用命奉願上候 京城本町二丁目 天婦羅 御料理 仕出し 松金 電話六八六番

質 大口歡迎 京城黄金町長橋町入口 電話二九一六番 商品擔保便利取扱 田村質店

來廿二日土用うし うなぎ 鰻蒲燒代金四拾錢 うなぎ丼代 大金卅五錢 小金廿五錢 仁川新町 奴亭本店 電話三三〇番 仁川宮町 奴亭支店 電話五〇四番

明治町佛蘭西敎會坂下（若草町入口） ドクトル 女醫 中村齒科醫院 電話一五八三番 分院（黄金町二丁目郵便所隣）電話一八九番

來る廿二日土用うし 鰻 かばやき丼 例年の通最良の鰻多數入荷仕特別大勉強仕候間御用命の程奉願上候 會席 御料理 川魚 京城櫻井町 玉喜（電話一〇〇） サクラビヤホール 京城本町三丁目 玉喜支店

花筐（六二）

松田竹の島人作

田淵は、早見が、嘉七から嚴談されて、困り拔くのは、不足言ぬ痩我慢を爲て、自分の意に從はぬからで好い氣味だとは思つたが、それを口へ出しては言はず、冷やかに

『早見君が僕の意に從つてくれんとすると、此處に居たつて仕方がないから、これで失敬する』と起ち上つた。

田淵は、自分が愈々此席を起つと爲ると、早見は意地づくで、二十圓を突き返へしは爲たが、嘉七から嚴談され、切迫詰つて、今なくてならない金だから二十圓が欲しさに、鎌倉往きを承諾すると思つた。

けれども早見は、飽くまで意地強く、

『それぢや失敬』と簡單に挨拶したばかりで、折れて出る氣色がなかつた。

田淵は、最うこれまでだと諦めて早見の部屋を出て、階下へ降りて了つた。

嘉七が早見に、嚴しく督促したのは、部屋代が欲しかッたのと、二十圓を早見に取らせて、そして田淵の意に從はせやうと、言はゞ田淵に阿るのに外なかつた、けれども早見が強情で、二十圓を突き戻したので、部屋代も貰へず、そして田淵に滿足を與ふることが能きなかつたので、其反動として早見を憎いと思つた。

『早見さん、貴方が外へ移轉して下さると爲ると、部屋代の代りに、道具をみんな置いて往つて貰ひませう然うして貴方に金が出來たら、道具と引換へといふことに爲ませう。私は税金を納めなくッちやならないで、差迫つて金が入要だが、殴打ッたッて叩いたッて、金がなければ仕方がありませんからねエ。』

『道具を置いて往くことは困るですねエ。』

『然う貴方のやうに、あれも能きない、これも能きないぢや、厄個に困つて了ひますよ。宛るで駄々ッ兒を相手に爲てるやうなものだ。』と嘉七は瞳腹んだことを言ふ。

早見は、道具總てを、部屋代の代りとして置いて往くことに爲ると、士錦や机其他の物は什麼でも構はぬが、書きかけの會計論の續稿を置いて往くことは困る。前の方の原稿は、大森が出版を書店と交渉すべく持ち歩行いてゐるが、若し出版の噺が纏まりかけて、續稿を見たいと言はれた場合に、手元に持つてゐないと差支へる。だから哀訴歎願して、書きかけの其原稿だけを持つて往きたいと思つた。

『それでは御主人、君の意に從つて道具總てを置いて往くことに爲ませう。併し爰に一つ頼みがあるのですが……。』

『怎麼御頼みですかね？』と嘉七は冷かに應へて煙草の烟を輪に吹く、

『道具總ては置いて移轉すに爲ても、これだけは持つて往きますから、切望承諾して下さい。』

早見は机の上にあつた二三百枚の書きかけの原稿を見せた。

嘉七は、原稿を下らない反古紙とのみ思つてゐたから、從つて其價値は知らなかつたけれども、早見が持つて往きたいといふのから推して、それだけ早見に取つては、大切なものと考慮へた。だから其大切なものを持つて往かれて堪るものかと思つて、

『そりや不可ませんや。』と膠なく言つて、煙草の吸殼を、煙管の雁首から、スプッと火鉢へ吹き出した。火鉢の中に落ちた火玉は、綫の如き煙を立てたが、其煙は嘉七の禿頭を纒つた。

院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科
京城本町三丁目 英國領事館向側 芙蓉醫院 電話二六二三番

一句

朝露や花に喰ひ入る蜂の數　鳥兎
俎の魚反り返へる若葉かな　案山子
苺熟す冷やかに見し庭の隈　瀬村

俚謠正調 例會吟　拙無し會

選りも好んで丁度盂蘭盆の十四日の夜宵闇の闇小路が爰に落ちつて、念佛な外の俚謠三昧 ―闇小路太郎―

その一

即題「闇」

二十四點 浪廼家　二十三點（久廼家）十三點（闇小路）十二點（浮嚴島）十點（市松）同點（鳴海家）三點 菰火 二點以下略

呪ふ火魂の飛び交ふやうな、闇の飛行の宙返り‖二點　阪本菰火

雨の宵闇何處から唄が、溺れて來るやら潮來節‖四點　大塚久廼家

廓の出窓に涼風納れて、闇の歎乃閨く夜頃‖五點　闇小路太郎

虫を聞こことて足音盗み、闇に忍んだ恥かしさ‖五點　稲島鳴海家

焦らす心が憎いよ闇に、たつた一ト聲ほとゝぎす‖五點　川村市松

戀の闇路に情けと義理が、もつれもつれて踏み迷ふ‖七點　高野浪廼家

月のない夜を河鹿がなくよ、私を泣かせて樣は來ぬ‖八點　闇小路太郎

人‖十二點　小島浮嚴島

闇にだまされ咲いたが口惜し、月も見で散る月見草

地‖十一點　高野浪廼家

法の灯しに心の闇も、晴れて眞如の月を見る

天‖十八點　大塚久廼家

更けて別れて涙もそゞろ、闇の心に遠砧

新刊紹介

▲少女畫報（八月號）渡邊文子、栗原玉葉兩女史の麗はしくて而も口繪、美しき三色版及び鮮やかなる光澤寫眞十餘頁を以て卷頭を飾り同誌獨得の寫眞小説『双葉の藍』はその背景の妙、場面の奇、人物の活躍等少女の胸を騷がすものあり讀物には伊藤博士、柵揚柳子の有益なる記事以下悉く精選せる材料にて江見水蔭外數氏の少女小説また面白し（十六錢東京橋銀治町東京社）▲少女の友（八月號）卷頭から情の籠つた引きつけられる讀物『八月の手紙』が出て居る、可笑しくて可哀いらしい岸邊先生の『都子さん』は全く笑ひ泣きさせる、夏休みの讀み物として漫畫や滑稽話が澤山にあつて『夏の海水浴場』いろんなお茶目記者十名が伊香保、榛名で『嬉しかつた事』『氣に入つた事』『いやであった事』この暑さに寒さを覺ゆる寫眞小説『龍見寺』『お種の身代り』『ダイヤモンド』等の外飯塚博士の耳の話や中井博士の珍らしい植物の話につゞく爲になる面白い美談が澤山あるが中に長い對話が二つもある（十二錢東京京橋、實業之日本社）

▲日本少年（八月夏休み號）次郎冠者の痛快極る『僕の軍艦』日本山岳會員の物凄く荘厳なる『アルプス山中の怪行者との會話』等を始め小説、長詩、滑稽漫畫、ポンチなど何れも山さとして夏休みに最も適當なる讀み物多く、殊に暑さも忘れて快哉を連發させる鈴木海軍中將の『月下の水雷戰』長谷川元帥の『初陣もの』が水に關連して涼しく面白く、殊に暑さも忘れて快哉を連發させる、中代議士の『剃刀大臣陸奥伯』其他血あり涙ある名將小説、奇怪小説、少年小説何れも作者の苦心を重ねたるもの多し、殊に齋田理學博士の『夏山と高山植物』は最も興味あつて有益なり（十二錢東京京橋實業之日本社）

▲ザ、イングリッシ、タイムス（二〇一）（十二錢東京芝南佐久間町一の一英語研習社）

▲ザ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション（六の二三）（十二錢東京麴町内幸町共社）

▲陽明（十月號）（十錢大阪府東成郡天王寺村二八六大阪陽明學會）

▲英語の日本（一〇の二）（十二錢東京神田表神保町三建文館）

▲竹友（七月號）（五錢東京麴町三番町六友共社）

▲コニシタイムス（七月號）（價不詳東京日本橋本町二小西本店）

▲嗜好（七月號）（六錢東京京橋區元數寄屋町二の六明治屋）

▲日本養蜂雜誌（七月號）（八錢名古屋市東區長塀町三の五丑屋）

▲臺灣教育（七月號）（二十錢臺灣總督府民政部學務部內其會）

讀者の領分

▲此頃市中のアイスクリーム類の賣人がて澤山になつた が彼等の不潔には驚く見付次第試驗をして見給へ驚くべきものがある衛生々々とやかましいのに斯ると見脱のは矛盾だ（下掬生）▲從前總督府の官廳時代の除穢人夫は頻繁に來り居りたれども近來になりて除穢人夫の來ること極めて少く二週間に一度か永き時は四五週間も來らざることあり甚々隣家には來りても此方には來らざることあり其原因は除穢人夫の少き爲めか敢て識者の御教示を乞ふ（南米倉町總代）▲最負の御説の如く阪探偵は當小説內一若は第二者第一者は女性即ち紫孃（誰）無論有力なる人物は明白併し阪が當小説內の根本と僕は愚察す又『ジプシイ』孃は只小説の其道行の一者二者は但き四者位の者にて少しの紛爭はあるだろう僕に先見の明はないが罪人は鐵部頭取佐部及び八島三人結托の樣にある鈴宮は云ふに云はれぬ義理の爲め時節を待つもの如し世の先見諸士の評を乞ふ（探偵の子）▲元漢城病院の病室御賣却は贊成する所なれども僅の金にて立木も共に賣却されたるは惜むべし、だ風景を損し地價を下落せしむる事に御氣付なき乎大部分は切り倒されたが殘餘丈でも殘して欲しいものだ（附近の一人）▲御前の催しの俳句會の兼題は『凉』としてありましたが『すゞみ』なれば『納涼』の筈ですがアレハ『凉』の誤りではありませんか（俳天狗）▲左樣です『りやう』の誤りで『凉し』とか『凉しさや』とかやるのであります

御婦人方の一大事は月經の障害

□月經の時內股が痛んだり痙き攣つたり□或は逆上頭痛がして頭が割れる樣だつたり□時として月經が滯つたり多過ぎたり

一少女が十五六歳になると急に女らしくなります是れは我國の女は其頃（平均十四歳八ヶ月）から月經があり升ます世間にはカラ女と云て卅歳にも卅五歳にもなるのに月經のない方がありますが夫は子宮や卵巢等の無いので若し此年齡の前後に於て月經が無ければ大概月經閉止と云ふ病氣なので大に注意をしなければ成ませぬ

□月經は普通廿八日目毎に一回づゝ來るので個人で一日位の早い遅いはありましても今月廿八日目に來たものなら來月も亦廿八日目に來るのが當然であります。若し其が廿五日目とか廿三日目に回つて來ると云具合なのは月經不順と云て病氣であります。又月經は大抵三日から四五日間に經る物でありますが其より永くかゝつたり短かくて濟だりするのも月經不順であります。月經の量は何れ位か適當かと申しますれば普通五勺から一合位迄で若しそれより多ければ月經過多と云病氣でありますし自分の月經の量を斗る事は出來ませんので若し左の兆候があつたら月經過多と云病氣であります

一、月經が始めから俄に多い氣持がして月經の中に多い日と少い日とあつて一定せず二、止だかと思ふと俄にどつと下りて其爲に貧血が起り身體に種々の障が起つた時三、月經の時は大概の御婦人が內股につる樣な痛を感じ腰の周圍が痛むか小便が屢々出たり氣分が優れない事等は有り勝の事で之位は病氣と云程でもありません。然し內股が激しく吊り痛み非常に腰の周圍が痛むとか頭痛がして何とも云へぬ程氣分が惡くなり小便が頻に出て一層甚いのになると嘔吐を催す事さへあると云のは月經困難と云病氣でムいます

□所が世間には往々此病候を感じながらお醫者に診せ憎いため、か又は月經時に憶際兆候があるのは當然である思つてか放任して置かれる爲に病氣は一層甚しくなり堪らなくなつて始めてお醫者に診る時はもう手遅れとなつて悲しみ且後悔されるのは誠に遺憾の至でムいますで皆樣にお勸め致します養生法は第一身體を靜かにし骨の折れる仕事は一切止て精々室の掃除位にして戴きたうムいます第二に心を愉快にして嫉妬の憤怒や悲哀の情を起すのは極いけませんから家內の方殊に良人から大ないに注意して下さい。第三には酸い物辛い物お酒等の刺激する食物は止して滋養物で消化し易いものを採らねばなりません。

□一番大事なのは內服藥の撰擇方であります。月經の藥には種々ありますが前のお話で御承知の通り病氣其ものゝ種類も樣々ある上は決して一の藥で治す事は出來ません。何と言ても中將湯が最も適當でムいます。何故なれば中將湯は病氣の容態に依てそれに適當した藥を調合致しますので御容態にシックリ當嵌つて著しい効能ある事は火を見るよりも明であります

加減藥の購入法

加減藥ばかりは本舖以外には販賣して居りませぬ故御求めの時は御自分の御容態を詳しく（假名でも何でもよろしい）書いて一週間分なれば七十五錢四週間分に二圓五十錢を振替で御送金下されば本舖は御自身に適したクスリを送つて差上ます。振替番號は東京本舖は東京六〇八番、大阪支店は大阪四五六番です、又代金引替でも普通爲替御申越ありても宜しくムいます

□尙又中將湯は月經斗りでなく子宮から起る種々の病、血の道即ち婦人神經、症、産前産後の諸症亦こしけのある方冷ね性の御婦人等に用ひて大に効能があります婦人病のため御困りの方はぜひ御試し下さい。

中將湯本舖は東京市日本橋區通四丁目津村順天堂本店（電話本局六二番六三番）大阪市大寶寺町堺筋南入津村順天堂支店（電話南一二十五番）であり升又各藥店に於て販賣して居りますから市内は即時配達致します。

第六十回營業報告

貸借對照表

貸方（負債之部）

科目	金額
資本金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸積立金	貳、參九參、貳〇六・參壹
支拂未濟配當金	貳、六九八・八貳
貸代金	壹八六、壹〇五・壹四
買代金	[illegible]
引受手形 支拂手形 借入金	[illegible]
社債	參、八〇〇、〇〇〇・〇〇
預り金並二未拂金	[illegible]
未拂社債利子	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	壹參、四四九、參〇貳・六六

借方（資產之部）

科目	金額
拂込未濟資本金	壹、貳五〇、〇〇〇・〇〇
工場原料品・仕掛品・製品	四、九六貳、六五參・貳壹
積送品	[illegible]
銀行當座預金	[illegible]
預ケ金	[illegible]
假出金	[illegible]
他所出	[illegible]
建物	[illegible]
機械器具	[illegible]
什器	[illegible]
有價證券	[illegible]
土地建物	[illegible]
工場準備要品	[illegible]
工場增設金	[illegible]
現金	[illegible]
合計	壹參、四四九、參〇貳・六六

損益計算

收入之部

科目	金額
製品販賣高	壹貳、四壹〇、四壹五・四〇
屑物出來高	壹九四、參九五・貳參
手數料及株券書換料	六九八、參五壹・八壹
合計	壹貳、九九〇、參〇參・七〇

支出之部

科目	金額
原料品及半製品消費高	七四六、八六〇・〇〇
社債利子	壹六參、六五〇・七五
諸税	壹六五、八五九・壹八
營業費	壹壹五、七〇壹・七六
工場費	參三四、四〇壹・〇〇
合計	壹壹、五六參、九四壹・七五
差引	壹、[illegible]

内

科目	金額
當期純益金	參八參、〇七七・參參
前期繰越金	七八、八六四・四貳
合計	壹、[illegible]
積立金	七八〇、八六四・四貳
役員賞與金	武〇、〇〇〇・〇〇
配當金（年二割五分）	四六八、七五〇・〇〇
後期繰越金	壹七壹、壹貳壹・六六

右之通候也

大正六年七月

内外綿株式會社

取締役社長 中野太右衛門
取締役 川邨利兵衛
同 阿部彦太郎
同 武居綾藏
同 天木繁二郎
監査役 浮田桂造
同 半田虎之助

最新刊

書名	著者	定價
印度及印度人	左野甚之助	一、五〇
支那語自習完璧	東亞通社	一、四〇
海外交通史話	辻善之助	二、五〇
禪學質疑解答	原田祖岳	一、二〇
定石くづし	胡桃正見	八〇
此の一手	高橋清致	六〇
三坪花園	今村猛雄	五〇
道	高濱虚子	八五
光源氏の一生	高須梅溪	六五
祇園双紙	吉井勇	六五
青葉若葉	近松秋江	五五
瘋癲院長兵衛	翠猫暗闘	一、三〇
獨歩書翰	獨歩	五五
涙香集わらわの罪決闘	黑岩涙香譯	一、二〇
山嶽旅行祕訣	榮野道人	六五
化粧の卷	水島幸子	一、〇〇
一橋挿話	清水郁代三	七〇
日本青年論	直理亨三郎	一、三〇

京城本町一丁目 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

りん病 ばいどく
一周分 梅毒 麻病 特製 普通
本劑は殺菌力強大にして急性慢性淋病及び各種作用なく急性淋疾患に服用し最も安全迅速に治癒
京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 京城本部

花柳病 外科專門
梅毒◎痳病◎泌尿生殖器病◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病 婦人病◎神經衰弱ヒステリー
京城南大門通殖工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番

寫眞
寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速可確切なる御高評を旨とし
京城日報社寫眞製版部

内外雜貨卸問屋
月刊商報進呈仕候
明治屋本店

内外雜貨 卸問屋
釜山本町二丁目
近江屋支店
電話八〇二番 振替京城一三七番

内外雜貨卸問屋
長岡商店
釜山辨天町長手通 電話八三一番

内外雜貨 鍋釜金物 サクラビール 石油
卸商
釜山本町三丁目
近藤商店
電話長七六八番

商報發行 卸問屋
洋菓子洋酒 食料品
英米佛直輸入 東京三河屋 滿鮮代理店
釜山幸町
ミトヤ商店
MITOYA.CO

釜山商店案内

鯖罐詰（一名さばかつを）
弊社製品續々入荷致候間御用命被仰付度候
釜山 あづまや商店

衛生 全乳
京城若草町 荒井牧牛乳場部
電話京城一〇〇四・一三七一

醴泉 金泉間自動車發時間

上り 金泉發	前八時、九時、後一時、二時、三時、四時
下り 醴泉發	前八時、十時、後零時、二時、四時

金泉驛前 小荷物運搬仕候 金泉稲居自動車支部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸 七月廿六日正午出帆
高砂丸 八月六日正午出帆
三河丸 八月十六日正午出帆
仁川港埠頭 一丁目 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行
第廿共同丸 七月廿四日午後八時出帆
（出帆時刻は變更あり）
本町四丁目（電話一七三番）野口商會

大連往復の旅客は阿波共同汽船株式會社

仁川代理店（電話二四七番）田口回漕店
元山代理店（電話二三八）田中回漕店
京城取次店 南大門通（電話二三〇七）河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
君が代丸 七月廿八日午後四時出帆
大有丸 七月廿三日午後四時出帆
秀吉丸 七月廿七日午後四時出帆
神代丸 七月廿四日午後四時出帆
仁川港埠頭通三丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戶、大阪行 七月廿三日午後五時出帆
和歌浦丸 八月 三日午後五時出帆
立神丸 七月廿二日午後十時出帆
元山、清津、浦鹽行
第三琴平丸 月 日午後六時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 月 日午後六時出帆
門司、宇品、神戶、大阪行
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 每月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
天眞丸
釜山港埋立新町 本社 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

神戶、大阪行
天智丸 八月三日
南部丸 七月廿七日 後二時出帆
舞鶴丸 八月四日
外航路所屬船（長崎航路を除く）同運賃は五分引を以て運搬切符發賣仕候
木浦、釜山、嚴原、彥の浦、長崎行
安東丸 七月卅一日 後二時出帆
安東丸 八月十八日
群山、橫濱行
南浦丸 七月廿一日 後二時出帆
潮州丸 八月三日 後二時出帆
膠州丸 七月 日
鎭南浦、大連行
安東丸 七月廿六日 後二時出帆
鎭東丸 八月十三日
南浦、神戶、大阪行
臺東丸 七月三十日 後二時出帆
南部丸 八月一日
西湖津新浦城津清津行
臺東丸 七月 日 後二時出帆
須磨丸 七月廿四日 後十二時出帆（元山出帆）
淸津行（元山出帆）
宮島丸 七月廿八日 後十二時出
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 七月廿三日 前五時出帆
基隆丸 八月八日 後四時出帆

御注意 ●各船共時間の都合に依り客貨の取扱及び市中切符賣捌所の發賣時間變更することあり●×印は日本郵船との連絡切符發賣品○印は大阪商船との連絡切符發賣品

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二〇番 五一番
切符發賣所 內國通運會社京城支店 電話七〇番
切符發賣所 仁川京城通り 開與館 電話二六一番

商況

下關期米特電

十九日後場 △當限寄付二十一圓六十五錢△中限 △先限寄付二十一圓八十六錢

大阪期米特電

十九日後場 △當限寄付二十二圓六十五錢△中限△先限寄付二十三圓八十六錢

▲保合小堅し 天候依然暑天調候八錢と高騰し實物現はれ十五錢と上伸したが買方は又實物多く無碍に伸びず氣乘り薄の裡十五錢と底強き成行を示して散會

結局保合を繰り返したるに過ぎなかつた形勢であるが今後の變動如何あるべき

▲昨日の前場三千餘石實千餘石▲後場三千餘石實二千餘石

▲仁川現物界 穀海忠清混合十八圓五十錢六十錢地物は出來たり事情を出帆へ

場　高値 二十圓十五錢　安値 二十圓七十九錢

出来高 一萬二千五百五十石

●盜んで逃げ廻る　岡山縣

空間町生れの藤井健三（二四）は七月八日釜山に流れ込みて徘徊しつゝ無錢飲食等を働きたる曲者と判明し目下取